

～京都府公立大学法人における第3期中期目標達成状況等評価（中間評価）～
小項目別評価

令和6年9月

京都府公立大学法人評価委員会

法人の概要

(1) 現況

- ①法人名 京都府公立大学法人
 ②設立年月日 平成20年4月1日
 ③所在地 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町465
 ④役員 の 状況
 理事長 金田 章裕
 副理事長 2人
 理事 5人
 監事 2人

⑤設置大学

- 京都府立医科大学
 医学部医学科、医学部看護学科、
 医学研究科、保健看護学研究科
 ○京都府立大学
 文学部、公共政策学部、生命環境学部（令和6年4月
 学生募集停止）、農学食科学部、生命理工情報学部、
 環境科学部
 文学研究科、公共政策学研究科、生命環境科学研究科、
 食の文化学位プログラム

⑥学生数

○京都府立医科大学（令和6年5月1日現在）

医学部医学科	656人	医学研究科	308人
医学部看護学科	343人	保健看護学研究科	31人
学部合計	999人	大学院合計	339人

○京都府立大学（令和6年5月1日現在）

文学部	591人	文学研究科	54人
公共政策学部	458人	公共政策学研究科	18人
生命環境学部	708人	生命環境科学研究科	206人
農学食科学部	113人	食の文化学位プログラム	5人
生命理工情報学部	63人	大学院合計	283
環境科学部	79人		
学部合計	2,012人		

⑦教職員数

○京都府立医科大学（令和6年5月1日現在）

教員	464人
職員	1,479人
合計	1,943人

○京都府立大学（令和6年5月1日現在）

教員	154人
職員	56人
合計	210人

(2) 京都府公立大学法人の基本的な目標等

京都府公立大学法人は、京都府立医科大学及び京都府立大学の設置及び管理を通して、京都府の知の拠点として、両大学の特色を活かした質の高い教育研究活動を通して、豊かな知性と幅広い教養、高い専門能力と倫理感を持った人材を育成するとともに、世界トップレベルの医療の提供や教育・研究の成果を府民や地域に還元し、府民の健康増進、福祉の向上、京都文化の発信や産業振興など、府民生活の向上、地域社会や国内外の発展に貢献することを目的としている。

全体的な状況

○第3期中期目標達成状況等評価（中間評価）

第3期中期計画においては、設定された小項目50項目と数値目標16項目の計66項目のうち、計画で達成できた項目（Ⅳ評価及びⅢ評価）は、一部コロナ禍の影響があるものの、全体の98.5%を占める達成状況となっている。

▶ 自己評価基準

中期計画の達成状況見込みを4段階で評価

- Ⅳ： 中期計画を上回って実施できる見込み
 Ⅲ： 中期計画を十分に実施できる見込み
 Ⅱ： 中期計画を十分には実施できない見込み
 Ⅰ： 中期計画を実施していない

事 項	総数	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅳ、Ⅲの割合
第2 教育研究等の質の向上	44 (15)	0 0	43 14	1 1	0 0	97.7%
第3 業務運営の改善	12 (1)	0 0	12 1	0 0	0 0	100.0%
第4 財務内容の改善	1	0	1	0	0	100.0%
第5 教育研究及び組織運営の状況の自己点検等	1	0	1	0	0	100.0%
第6 その他運営	8	0	8	0	0	100.0%
合 計	66 (16)	0 0	65 15	1 1	0 0	98.5%

※()は数値目標の数値(内数)

第2 教育研究等の質の向上に関する特記事項

1 教育等に関する目標を達成するための措置

(1) 入学者選抜

- ・医科大学では、教育センター内に「入試室」を令和5年4月に設置し、多面的・総合的評価を導入した入試制度の設計について検討した。
- ・府立大学では、令和6年度学部・学科再編及び新学習指導要領に対応した最初の選別試験である令和7年度選抜について、必要な情報を令和4年度、令和5年度に随時公表した。

(2) 教育の内容

- ・医科大学では、医学研究科修士課程に遺伝カウンセリングコースを開設(定員2名)した。
- ・医科大学では、医学研究科博士課程に「法医臨床医・法歯科医・法医専門医養成コース」を設置(R5は7名が在籍)したほか、「インテンシブコース」を開設(R4年10月)した。
- ・医科大学では、医学研究科博士課程に「北部キャンパス地域医学コース」を開設し、令和6年度からの入学者を募集した。□
- ・府立大学では、AIデータサイエンス教育研究センターを設置し、AIデータサイエンス教育プログラムの導入に向けた科目の検討・検証を進めており、その一環としてサイバー大学との単位互換協定を締結した。令和5年度後期からはサイバー大学の授業を試行的に府大生が受講した。
- ・府立大学では、当初の計画において主に理系科目により構成されていた副専攻プログラムを、より幅広いニーズに応えられるよう文系のデータサイエンス科目を設定し、履修を可能とする副専攻プログラムを構築するため、運営委員会で協議の上、実施科目を選定した。
- ・府立大学ではまいづる赤れんがオフィス、宮津サテライトオフィスを設置し、地域住民の主体的な活動の支援などに取り組んでいる。
- ・府立大学では、大学院課程に「食の文化学位プログラム」を設置した。

(3) 教育の質保証

- ・医科大学では、共用試験の公的化のため、教育センター内にOSCE及びCBT小委員会を設置した。(R5年)
- ・府立大学では、一般財団法人大学教育質保証・評価センターによる「大学機関別認証評価」を受審し、評価基準を満たしていると認定された。(R5年)

(4) 教育環境の整備・学生への支援

- ・両大学では、国の修学支援制度の適用に加え、法人独自制度により経済的な支援を実施した。
- ・医科大学では、全学生にGoogleフォームにより、毎日、保健管理センターへ健康状況を提出させ、その上で、有症状者に対しては、保健管理センターから状況確認を実施した。
- ・府立大学では、学習支援室の体制を整備し、常勤コーディネーター1名を配置し、修学上配慮が必要な学生に対し、きめ細かな相談対応や学習環境整備に係る調整を行った。
- ・府立大学では、オンライン授業の増加などに対応する学内Wifi環境を全面更新した。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 戦略的な研究の推進

- ・両大学では、研究者による共同研究を理事長裁量経費事業として実施した。
- ・医科大学では、医療の質の指標となる診療プロセスを集計したデータブックを作成(R3)し、試行的に肺がん患者、先天性心疾患等の患者の症例データ利用等を実施(R4・5)した。
- ・府立大学では、「文化庁連携室」を開設(R5.9月)し、記念フォーラムを開催(R5.3月)した。

第2 教育研究等の質の向上に関する事項

(2) 研究実施・支援体制の充実

・医科大学では、産学公連携機構「京都府立医科大学Medical Innovation Core for Society (K-MICS)」の設立に向けた準備を行った。
・府立大学では、産学公連携リエゾンオフィスとして京都地域未来創造センターから独立し、リサーチ・アドミニストレーター及びコーディネーターを配置し、競争的資金の公募情報をこまめに提供するなどして、研究支援体制の強化を図った。

(3) オープンな研究の推進

・両大学では、産学連携コンソーシアム「京都クオリアフォーラム」のワーキンググループに積極的に参画し、産学連携による研究環境を整備するとともに、共同研究を推進(R4)した。
・医科大学では、シドニー大学との学生相互交流協定の締結に向けて、お互いの学生派遣のテストランを実施することとし、2名の留学生を受け入れた。
・府立大学では、英語圏を中心に協定校の開拓に取り組み、ボストン大学(アメリカ)、西オーストラリア州立大学(オーストラリア)等、14校と新たに協定を締結した。

3 地域貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 府や府内市町村、地域との連携

・医科大学では、行政従事医師として、府本庁、府保健所等の行政機関等へ医師を派遣した。
・府立大学では、地域課題に関わる調査・研究を実施する地域貢献型特別研究(ACTR)に取り組んでいる。

(2) 文化庁等との連携

・府立大学では、京都府庁旧本館にて「文化庁連携特別授業」を開催、文化庁文化財調査官・京都府文化財保護課技師が文化財指定制度について講義した。
・府立大学では、学内に「文化庁連携室」を開設した。(R5年9月)

(3) 産学公連携の推進

・医科大学では、産学公連携機構「京都府立医科大学Medical Innovation Core for Society (K-MICS)」の設立に向けた準備を行った。
・府立大学では、「関西スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)」に令和4年度から加入(協力機関)。令和5年度からKSACに共同機関として参画し、大学発ベンチャー起業支援を強化した。

(4) 地域医療への貢献

・医科大学では、行政従事医師として、府本庁、府保健所等の行政機関等へ医師を派遣した。
・医科大学では、医師不足が特に深刻な府北部地域の地域医療確保のため、公的医療機関に対し医師を派遣した。(R2～5 1,516名)
・医科大学附属北部医療センターでは、本人及び家族、市町のケアマネージャー、訪問看護ステーション看護師、地域のかかりつけ医、当院医師・看護師、地域連携室相談員等の関係者による多職種の退院前カンファレンスをこれまで44件実施した。

(5) 生涯学習の推進

・医科大学では、「府立医大公開講座」を開催。令和5年度は高大連携の取組として高校生の参加枠を設け、入試広報と関連付けて実施した。
・医科大学附属北部医療センターでは、地元中学生や医療系志望高校生を対象とした出張授業、高校生インターンシップの受入れを行った。
・府立大学では、附属演習林において、府民対象の野外セミナーを実施した。また、附属農場において、農場体験講座「農場ユークルチャーデー」を開催した。
・府立大学では、府立植物園開園100周年を記念した公開講座「サイエンスレクチャー」を開催した。□

第2 教育研究等の質の向上に関する事項

4 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標を達成するための措置

(1) 高度医療・先進医療の提供

- ・医科大学附属病院では、ICUの5床増床を、5年3月に完了し、重症コロナ感染症患者に対してもより高度かつ安全な治療体制を提供できるEICUとして運用を開始した。
- ・医科大学附属病院では、「永守記念最先端がん治療研修センター」を運営。予防・診断(PET検査、ゲノム遺伝子検査)、治療(陽子線)、創薬(PE T検査室における治験協力)を行った。

(2) 地域医療との連携・地域医療人材の育成

- ・医科大学では、大学院医学研究科博士課程に「北部キャンパス地域医学コース」を新設した。
- ・医科大学では、大学院特別講義や地域の医師会と連携した症例検討会、研修医勉強会を行い、地域の医療従事者の資質向上を支援した。
- ・医科大学附属病院では、第3次救急医療機関として「救命救急センター」の指定を受けて救急患者の受け入れ体制等を強化した。
- ・医科大学附属病院では、手術療法や放射線療法、薬物療法に陽子線治療やがんゲノム医療を加えて患者に最適な治療を提供。また地域の医療機関と連携し、患者への緩和ケアや妊孕性温存療法等の支援を推進した。
- ・医科大学附属病院では、コロナの5類移行後も、コロナ病床確保、発熱外来設置等を継続した。

(3) 安定的な病院経営と運営体制の改善

- 医科大学では、経営改革推進室を設置し、経営改革企画会議の運営を通じて、経営改革の実効性を高める体制づくりを行った。(R6年1月)
- ・医科大学附属病院では、「附属病院経営戦略プラン」に基づく取組を進め、患者確保や病床利用率向上。医薬材料検討委員会の仕組みの見直しによる迅速審査部会を設置、委託契約等の見直しや計画的な機器整備等の検討を行うなど経営改善、収支改善に取り組んでいる。
- ・医科大学附属病院では、診療報酬ワーキングを開催し、届出可能な施設基準について検討・届出を実施した。

(4) 安心・安全で患者視点に立った医療サービスの向上

- ・医科大学附属病院では、患者満足度調査結果は、満足度が外来、入院ともに数値目標の95%以上を達成した。
- ・医科大学附属病院では、多職種と連携し、入退院支援センターの運用を開始した。(R5.4月)
- ・医科大学附属北部医療センターでは、患者満足度調査結果は、満足度が外来、入院ともに数値目標の95%以上を達成した。

(5) 国際医療の推進に向けた対応

- ・医科大学附属病院では、病院内の案内表示板を4か国語表示とした。
- ・医科大学附属病院では、各診療科の問診票や検査の説明文も英語表記のものを準備した。

第3 業務運営の改善等に関する事項

1 業務運営に関する目標を達成するための措置

(1)ガバナンスの強化と戦略的経営の推進

・大学法人では、経営改善などの重要課題について法人のトップが議論する会議を計画的に開催した。

(2)教職協働の推進

・医科大学では、講師以上の教員と事務部門管理職とが参加する夏季課題集中検討会を開催した。

・府立大学では、大学改革に向けた学長のガバナンスの強化を図るため、学長特別補佐8人(外部4人、教職員4人)を任命した。

(3)情報発信力の強化、ブランド力の向上

・医科大学では、150周年記念事業を、HPの特設ページ、ポスター、広報誌、公共交通機関の吊り広告等により学内外への広報を行った。

・大学ホームページを刷新し、令和6年度の学部・学科再編に向けたメインビジュアルの作成、ホームページを中心に各種媒体に展開を行い多角的な情報発信に努めた。

(4)情報セキュリティ対策の強化

・両大学では、情報セキュリティに関するオンライン研修を毎年実施した。

・医科大学では、セキュリティ対策機器等のファームウェア更新を適時実施した。

・府立大学では、学内で使用しているMicrosoft Teamsに全教職員が参加するチームを作成することにより、報告があれば速やかに情報担当が把握し、対処できるようにした。

(5)教育・研究体制の見直し

・医科大学では、医科大学機能整備計画(基本計画)を策定し、整備に当って生じる課題毎に検討チームを立ち上げ、検討協議を実施。その結果を踏まえ、基本計画の整備コンセプトに基づき、整備工程を分割し、段階的に整備できるよう実施計画を策定した。

・府立大学では、新たな学部学科再編の方向性について学内で検討を進め、府及び法人とも協議しながら『「新生・京都府立大学」改革プラン』として取りまとめた。プランに基づく学部学科再編について、文部科学省に学部設置届を提出した。(令和6年度から再編)

2 人事管理に関する目標を達成するための措置

・大学法人では、育児休業・育児参加のために休暇を柔軟に取れるよう制度を改正した。

・医科大学では、採用・転入者研修、新任係長・看護師長研修を実施した。

・府立大学では、SD・FD研修の他、学内各種委員会主催の研修を毎年度複数回実施している。

(2)働き方改革の推進

・大学法人では、新たに法人事務職員の採用試験を実施した。(R5)

・医科大学では、7件のクロスアポイントメント制度を適用した。(R2～5)

・府立大学では、・教員の公募要件に男女共同参画の取り組み推進について記載するなど、女性の登用・登用促進の取り組みを実施している。

第3 業務運営の改善等に関する事項

3 効率的経営の推進に関する目標を達成するための措置

(1) 両大学事務の連携強化・共同化、業務委託の推進

- ・両大学では、知的財産・産学連携に関する事務について、両大学共通の事務の確認を行い、決裁ルート見直し等効率化を図った。
- ・両大学では、事務局間で学生の海外派遣と受入事務について、実務者レベルの情報交換を実施したほか、共同で留学生交流会を実施(R5)した。

(2) ICT活用による生産性向上

- ・両大学では、出退勤システムを導入し、出退勤時間の把握を行った。
- ・両大学では、年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施(R5)した。

第4 財務内容の改善に関する事項

1 収入・経費等に関する目標を達成するための措置

- ・医科大学では、経営改善コア会議を設置(R5)し、病床稼働率の向上による病院収入の確保等による収入確保や、医療材料費や光熱費等の経費削減を進める対応案を検討した。
- ・両大学では、ふるさと納税による寄附について広報活動を行った。

第5 教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項

1 自己点検・評価及び業務運営への反映等に関する目標を達成するための措置

- ・医科大学では、病院機能評価の受審し、条件付きであるが認定を受けた。(R5年8月)条件付きの対象である改善要望事項について、病院長によるヒアリングを実施し、改善報告書類をとりまとめ、確認審査に備えた。
- ・府立大学では、大学機関別認証評価を受審し、適合の評価を受けた。

第6 その他運営に関する重要事項

1 教育研究・診療施設の計画的整備に関する目標を達成するための措置

(1) 施設の計画的整備

- ・医科大学では、基本計画に掲げるコンセプト踏まえつつ、整備の緊急度や医療を取り巻く環境の変化に対応することを念頭において、整備工程の具現化を図る大学施設整備に係る実施計画の策定を推進した。
- ・医科大学附属病院では、整備に向けた外部・内部環境調査等を実施するとともに、「病院機能検討会議」を開催(R3～)し、北部医療センターが担うべき役割や機能について検討を実施した。
- ・府立大学では、「京都府立大学整備構想」(R4年3月)、「京都府立大学施設整備基本計画」(R5年3月)をそれぞれ策定、今後は京都府と整備時期、財源等の協議、調整を進め、順次整備していく予定である。

2 コンプライアンスの徹底に関する目標を達成するための措置

(1) 法令遵守

- ・両大学では、内部監査について、文科省ガイドライン改正を受け、各大学内の規程を整備(R3)。また、会計監査人と内部監査員との意見交換を定期的に行っている。

(2) 研究の公正と信頼性の確保

- ・医科大学では、「研究質管理センター」を設置し、臨床研究責任医師等講習会、臨床研究関係者講習会及び審査委員会委員等講習会を開催した。
- ・医科大学では、利益相反委員会、医学倫理審査委員会及び臨床研究審査委員会を毎月開催した。
- ・府立大学では、研究倫理・公的研究費の使用に関するコンプライアンス研修を毎年実施している。

(3) 個人情報保護

- ・両大学では、改正後の個人情報保護法に基づき、京都府公立大学法人における個人情報の保護に関する規程及び京都府公立大学法人個人情報保護事務処理要領を整備した。
- ・医科大学では、個人情報やセキュリティ上のリスクの有無や対策を事前検証するため、令和4年度に「医療情報システム届出制度」を新設し、試験運用を開始した。

3 人権に関する目標を達成するための措置

- ・両大学では、全教職員を対象とした人権研修を実施した。(講義形式及びオンデマンド配信)
- ・医科大学では、新規採用職員・転入者を対象にハラスメントの防止等について説明し、ハラスメント啓発パンフレットを大学ホームページに掲載した。
- ・府立大学では、人権教育として「人権論(人文・社会科学系)」、「人権論(自然・生活科学系)」、「インターネットと人権」、「現代社会とジェンダー」を開講した。

4 安全衛生管理及び危機管理体制の確保に関する目標を達成するための措置

- ・医科大学では、内閣サイバーセキュリティセンターが開催した「分野横断的演習」に病院長及び医療情報部員が参加した。
- ・医科大学では、止水板の設置や土嚢の整備を行う等、浸水対策を実施した。(R4)
- ・府立大学では、令和6年1月発災の「令和6年能登半島地震」について京の防災防疫安全安心研究センター所属の教員による調査報告会を学内の教職員向けに行い、防災意識の向上に努めた。
- ・府立大学では、・留学中の学生に対してアイラックへの連絡を第一義とする体制を確立しており、かつ、アイラック社の「アイサーチ」(GPS、電話相談等)に加入し対応している。「アイサーチ」の使用方法を出国前にガイダンスしている。

第6 その他運営に関する重要事項

5 環境への配慮に関する目標を達成するための措置

- ・医科大学では、毒物劇物管理規程に基づき、廃液・廃試薬を適切に処理した。
- ・府立大学では、毒劇物についてガイドライン、規程、手引き等を改めて周知して、適正な保管、廃棄の徹底を図るとともに、ゴミの排出量の削減に向けては、ルールに基づいた処分について周知するとともに、ルール違反等があれば随時ゴミの適正廃棄の周知に努めた。

6 大学支援組織の形成・拡大等に関する目標を達成するための措置

- ・医科大学では、学内関係者や学友会、関連病院等へ働きかけ、ふるさと納税等寄附金の募集や大学事業等の積極的な広報活動を展開した。
- ・府立大学では、京都商工会議所と「地域産業の活性化と人材育成に関する包括連携協定」を締結し、府立大学の応援者の裾野拡大を図った。

項目別の状況

- II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 1 教育に関する目標
 (1) 入学者選抜

中期目標

大学の理念や人材育成方針に沿った優秀で多様な学生を受け入れるため、多面的な評価による入学者選抜や府内の高校との連携強化に取り組む。

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																
<p>① 明確な入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を掲げ、大学入試制度改革に対応した知識・技能や思考力・判断力・表現力、主体性など、学力の多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施するとともに、高校生への模擬講義や教員懇談会などを通じて府内高校等と連携を強化するなど、優秀で多様な学生の受入を推進する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育センター内に「入試室」を令和5年4月に設置し、多面的・総合的な評価を導入した入試制度の設計について検討した。【医大】 ・府教委との高大連携プログラム実施した。【医大】 ・令和6年度学部・学科再編及び新学習指導要領に対応した最初の選別試験である令和7年度選抜について、必要な情報を令和4年度、令和5年度に随時公表した。【府大】 ・「アドバンスト・プレースメントプログラム」を令和4年度から2年間試行した。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 906 1671 1382"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学力的多面的・総合的な評価による入学者選抜の実施</th> <th>指標の達成基準</th> <th>学力的多面的・総合的な評価による入学者選抜の実施の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> ・入試室において課題整理を進め作成された新制度の原案を基に検討を重ね、令和8年度入試から導入する方向となった。また、一部は令和7年度入学者選抜から取入れる内容も盛り込まれた。【医大】 ・各学部・学科のアドミッション・ポリシーを明確に掲げ、必要な科目等を課し、総合的な選抜を実施している。【府大】 </td> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>高校等との連携の強化</th> <th>指標の達成基準</th> <th>府内高校等との連携内容について新規・拡充内容の有無</th> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> ・府教委との高大連携プログラムとして府立高校への出張授業と共同教室を実施し、生徒からは、医療に対する興味や理解が深まった等の評価を得た。【医大】 ・府教委や個別高校との協定に基づき、出張授業を実施するほか、高校生等に本学の授業の聴講機会を与える「きょうとアドバンスト・プレースメントプログラム」を実施し（R4～R5）、高大連携を推進した。【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	学力的多面的・総合的な評価による入学者選抜の実施	指標の達成基準	学力的多面的・総合的な評価による入学者選抜の実施の有無	指標の達成状況	・入試室において課題整理を進め作成された新制度の原案を基に検討を重ね、令和8年度入試から導入する方向となった。また、一部は令和7年度入学者選抜から取入れる内容も盛り込まれた。【医大】 ・各学部・学科のアドミッション・ポリシーを明確に掲げ、必要な科目等を課し、総合的な選抜を実施している。【府大】			項目	高校等との連携の強化	指標の達成基準	府内高校等との連携内容について新規・拡充内容の有無	指標の達成状況	・府教委との高大連携プログラムとして府立高校への出張授業と共同教室を実施し、生徒からは、医療に対する興味や理解が深まった等の評価を得た。【医大】 ・府教委や個別高校との協定に基づき、出張授業を実施するほか、高校生等に本学の授業の聴講機会を与える「きょうとアドバンスト・プレースメントプログラム」を実施し（R4～R5）、高大連携を推進した。【府大】			III	III	
項目	学力的多面的・総合的な評価による入学者選抜の実施	指標の達成基準	学力的多面的・総合的な評価による入学者選抜の実施の有無																	
指標の達成状況	・入試室において課題整理を進め作成された新制度の原案を基に検討を重ね、令和8年度入試から導入する方向となった。また、一部は令和7年度入学者選抜から取入れる内容も盛り込まれた。【医大】 ・各学部・学科のアドミッション・ポリシーを明確に掲げ、必要な科目等を課し、総合的な選抜を実施している。【府大】																			
項目	高校等との連携の強化	指標の達成基準	府内高校等との連携内容について新規・拡充内容の有無																	
指標の達成状況	・府教委との高大連携プログラムとして府立高校への出張授業と共同教室を実施し、生徒からは、医療に対する興味や理解が深まった等の評価を得た。【医大】 ・府教委や個別高校との協定に基づき、出張授業を実施するほか、高校生等に本学の授業の聴講機会を与える「きょうとアドバンスト・プレースメントプログラム」を実施し（R4～R5）、高大連携を推進した。【府大】																			

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 1 教育に関する目標
 (2) 教育の内容

中期目標
 ア 倫理観を備えた高度専門人材の育成
 イ 情報活用能力等を有する人材の育成
 ウ 地域に貢献する人材の育成
 エ 教養教育
 オ 社会人教育

<p>② 医科大学において、世界水準の研究と地域医療への貢献に向けて、医療現場での臨床実習等を通じて、専門知識・技術と医療人としての心構えを身につけるとともに、将来にわたって高い専門性を修得し得る応用力・実践力、倫理観を兼ね備え、独創的創造力・人間力のシナジーを備えた、医療人材を育成する。</p> <p>また、府立大学において、京都府総合計画やSDGsなども視野に、社会のニーズに応じた新たな学位プログラムやコースワークの導入により、高い専門性と実践力を備え、様々な分野でグローバルに活躍する人材を育成する。</p> <p>併せて、両大学において、社会の変革や課題に挑戦し、指導的な役割を担うために必要なコミュニケーション能力、課題発見・解決能力、論理的思考力、課題探究心や倫理観を持つ人材を育成する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次に実施する早期体験実習において、グループ討議を行う授業を開講した。(R4～)【医大】 ・医学研究科修士課程「遺伝カウンセリングコース」に2名が入学した。(R5初入学)【医大】 ・大学院課程に「食の文化学位プログラム」を設置した。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 678 1668 893"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況(見込み)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国家試験合格率(医大)</td> <td>(医大) 医師 95%以上 看護師 100%</td> <td>III</td> <td>II</td> <td>II</td> <td>II</td> <td>III</td> <td>III</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 941 1668 1165"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>社会のニーズに応じた人材の育成</th> <th>指標の達成基準</th> <th>社会のニーズに応じた人材を育成する取組の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3">・大学院課程に「食の文化学位プログラム」を設置した。【府大】</td> </tr> </tbody> </table>	項目	達成基準	指標の達成状況(見込み)						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	国家試験合格率(医大)	(医大) 医師 95%以上 看護師 100%	III	II	II	II	III	III	項目	社会のニーズに応じた人材の育成	指標の達成基準	社会のニーズに応じた人材を育成する取組の有無	指標の達成状況	・大学院課程に「食の文化学位プログラム」を設置した。【府大】			<p>III</p>	<p>III</p> <p>府立大学では、令和6年度に「食の文化学位プログラム」を設置し、高い専門性と実践力を備える人材の育成に取り組まれている。</p>
項目	達成基準			指標の達成状況(見込み)																													
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																										
国家試験合格率(医大)	(医大) 医師 95%以上 看護師 100%	III	II	II	II	III	III																										
項目	社会のニーズに応じた人材の育成	指標の達成基準	社会のニーズに応じた人材を育成する取組の有無																														
指標の達成状況	・大学院課程に「食の文化学位プログラム」を設置した。【府大】																																

<p>③ 外国語教育・異文化理解教育や学生の留学の支援により、国際的なコミュニケーション力の養成や多様な価値観を備えた人材の育成を図るとともに、海外からの留学生や教員の受入の推進、外国人教員の採用増により、教育環境のグローバル化を推進する。</p> <p>また、全ての学生に対し情報リテラシーやデータ活用能力の向上など高度情報化に対応した教育を行うとともに、AI・ビッグデータ等を自分の専門分野で応用展開できる人材及び高度情報技術人材を育成するなど、Society 5.0（超スマート社会）に対応できる幅広い知識と深い専門性を持った人材を育成する。</p>	<p>＜中期計画の実施状況＞ ＜令和2～5年度の実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学研究科において講義の20%を英語で設定・実施した。【医大】 ・国際医学英語を実施した。(R4～) 【医大】 ・コロナ禍で中止していた医学科生の海外臨床実習派遣を再開した。【医大】 ・新規協定校の開拓や協定校へ留学する学生の危機管理を国際センターに一元化する等、国際センターの実質的な強化を図った。【府大】 ・シンガポールにサテライトオフィスを設置した。【府大】 ・AIデータサイエンス教育研究センターを設置し、AIデータサイエンス教育プログラムの導入に向けた科目の検討・検証を進めており、その一環としてサイバー大学との単位互換協定を締結した。令和5年度後期からはサイバー大学の授業を試行的に府大生が受講した。【府大】 ・当初の計画において主に理系科目により構成されていた副専攻プログラムを、より幅広いニーズに応えられるよう文系のデータサイエンス科目を設定し、履修を可能とする副専攻プログラムを構築するため、運営委員会で協議の上、実施科目を選定した。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 547 1671 775"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>指標の達成基準</th> <th>指標の達成状況（見込み）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の海外留学割合</td> <td>(医大) 医学科 卒業時までの海外留学割合 20%以上、看護学科 同 5%以上 (府大) 8%以上 ※「海外留学」の定義：2週間以上の滞在</td> <td>Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="696 810 1671 970"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語による授業実施数</td> <td>(医大) 英語で実施の授業割合 大学院医学研究科 20%以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 1018 1671 1257"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>情報技術に係る幅広い知識と深い専門性のある人材の育成</th> <th>指標の達成基準</th> <th>高度な情報技術への理解が得られる教育機会の確保の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td></td> <td>・AIデータサイエンス教育研究センターを設置し、AIデータサイエンス教育プログラムの導入に向けた科目の検討・検証を進めており、その一環としてサイバー大学との単位互換協定を締結した。令和5年度後期からはサイバー大学の授業を試行的に府大生が受講した。【府大】</td> <td>・当初の計画において主に理系科目により構成されていた副専攻プログラムを、より幅広いニーズに応えられるよう文系のデータサイエンス科目を設定し、履修を可能とする副専攻プログラムを構築するため、運営委員会で協議の上、実施科目を選定した。【府大】</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）	学生の海外留学割合	(医大) 医学科 卒業時までの海外留学割合 20%以上、看護学科 同 5%以上 (府大) 8%以上 ※「海外留学」の定義：2週間以上の滞在	Ⅱ	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	英語による授業実施数	(医大) 英語で実施の授業割合 大学院医学研究科 20%以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	項目	情報技術に係る幅広い知識と深い専門性のある人材の育成	指標の達成基準	高度な情報技術への理解が得られる教育機会の確保の有無	指標の達成状況		・AIデータサイエンス教育研究センターを設置し、AIデータサイエンス教育プログラムの導入に向けた科目の検討・検証を進めており、その一環としてサイバー大学との単位互換協定を締結した。令和5年度後期からはサイバー大学の授業を試行的に府大生が受講した。【府大】	・当初の計画において主に理系科目により構成されていた副専攻プログラムを、より幅広いニーズに応えられるよう文系のデータサイエンス科目を設定し、履修を可能とする副専攻プログラムを構築するため、運営委員会で協議の上、実施科目を選定した。【府大】	<p>Ⅲ</p>	<p>Ⅲ</p> <p>府立医科大学では、大学院医学研究科の授業の20%を英語で実施する等、教育環境のグローバル化に取り組まれている。</p>
項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）																																					
学生の海外留学割合	(医大) 医学科 卒業時までの海外留学割合 20%以上、看護学科 同 5%以上 (府大) 8%以上 ※「海外留学」の定義：2週間以上の滞在	Ⅱ																																					
項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）																																					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																																
英語による授業実施数	(医大) 英語で実施の授業割合 大学院医学研究科 20%以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ																																
項目	情報技術に係る幅広い知識と深い専門性のある人材の育成	指標の達成基準	高度な情報技術への理解が得られる教育機会の確保の有無																																				
指標の達成状況		・AIデータサイエンス教育研究センターを設置し、AIデータサイエンス教育プログラムの導入に向けた科目の検討・検証を進めており、その一環としてサイバー大学との単位互換協定を締結した。令和5年度後期からはサイバー大学の授業を試行的に府大生が受講した。【府大】	・当初の計画において主に理系科目により構成されていた副専攻プログラムを、より幅広いニーズに応えられるよう文系のデータサイエンス科目を設定し、履修を可能とする副専攻プログラムを構築するため、運営委員会で協議の上、実施科目を選定した。【府大】																																				

<p>④ 医科大学において、府内の関連病院を中心とした診療参加型臨床実習・地域滞在型医療実習の実施や看護現場の現状に則した実践的な看護学教育の充実と環境整備を図り、リサーチマインドを備えた地域医療に貢献する優秀な医療人材を育成する。 また、府立大学において、地域課題を解決するための企画力・提案力・実行力を身に付けるための人材育成プログラムの開発や現場体験・フィールドワーク・課題探求型学習の充実により、地域社会と協働して実践的に活動する人材を育成する。</p>	<p>≪中期計画の実施状況≫ ≪令和2～5年度の実績≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在型地域医療実習を実施した。(R5は現地)【医大】 ・早期地域医療実習を実施した。(府主催)【医大】 ・「地域創生人材育成プログラム」の演習科目「地域創生フィールド演習Ⅰ・Ⅱ」を開講した。(～R4)【府大】 ・「京都府域フィールドワーク演習」を開講した。(R5)【府大】 ・「場づくりLabo」(R2～)の展開により、地域づくりに携わる人材の育成支援に取り組んだ。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 406 1668 598"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況(見込み)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国家試験合格率(医大)</td> <td>(医大)医師 95%以上 看護師 100%</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 654 1668 837"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>社会のニーズに応じた人材の育成</th> <th>指標の達成基準</th> <th>社会のニーズに応じた人材を育成する取組の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td>・「地域創生人材育成プログラム」の演習科目「地域創生フィールド演習Ⅰ・Ⅱ」を開講した。(～R4)【府大】</td> <td>・「京都府域フィールドワーク演習」を開講した。(R5)【府大】</td> <td>・「場づくりLabo」(R2～)の展開により、地域づくりに携わる人材の育成支援に取り組んだ。【府大】</td> </tr> </tbody> </table>	項目	達成基準	指標の達成状況(見込み)						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	国家試験合格率(医大)	(医大)医師 95%以上 看護師 100%	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	項目	社会のニーズに応じた人材の育成	指標の達成基準	社会のニーズに応じた人材を育成する取組の有無	指標の達成状況	・「地域創生人材育成プログラム」の演習科目「地域創生フィールド演習Ⅰ・Ⅱ」を開講した。(～R4)【府大】	・「京都府域フィールドワーク演習」を開講した。(R5)【府大】	・「場づくりLabo」(R2～)の展開により、地域づくりに携わる人材の育成支援に取り組んだ。【府大】	<p>Ⅲ</p>	<p>Ⅲ</p>	
項目	達成基準			指標の達成状況(見込み)																														
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																											
国家試験合格率(医大)	(医大)医師 95%以上 看護師 100%	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ																											
項目	社会のニーズに応じた人材の育成	指標の達成基準	社会のニーズに応じた人材を育成する取組の有無																															
指標の達成状況	・「地域創生人材育成プログラム」の演習科目「地域創生フィールド演習Ⅰ・Ⅱ」を開講した。(～R4)【府大】	・「京都府域フィールドワーク演習」を開講した。(R5)【府大】	・「場づくりLabo」(R2～)の展開により、地域づくりに携わる人材の育成支援に取り組んだ。【府大】																															
<p>⑤ 医科大学・府立大学・京都工芸繊維大学(以下、「工繊大学」という。)の三大学による教養教育共同化において、少人数で討論を行うリベラルアーツゼミナールや京都の文化などの地域的、歴史的、文化的特色を学ぶ京都学の充実などカリキュラムの見直しや学生間の交流を促進し、一層の充実を図るとともに、両大学独自のカリキュラムにおける初年次(導入)教育、高学年における教養教育の実施や学部・学科等の枠を超えた文理横断的な科目の充実を図るなど、幅広い視野や大局観、豊かな人間性と高い倫理観や創造力、生涯にわたって学び考える姿勢を有する人材を育成する。</p>	<p>≪中期計画の実施状況≫ ≪令和2～5年度の実績≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三大学教養教育共同化科目として、計79科目を開講した。(R5)【共通】 ・「プレゼンテーションカとは」及び「時事問題で学ぶファシリテーション」の2科目を追加新設した。(R5)【共通】 ・一部の授業でクォーター制(4学期制)を試行的に導入した。【共通】 ・京都経済同友会やJA京都など府内の経済団体等との連携を拡大し、経営者等を講師として招聘することで、京都学系科目「京都の経済」の充実を図った。また、「京都の文化と文化財」では、能楽金剛流家元に講義いただくなど、世界的に活躍できる人材の育成に資する講座運営に当たり、履修率を向上させた。【共通】 ・哲学や倫理学の立場からテクノロジーと人間のあるべき関係を考えさせる文理融合科目「技術の人間学」を創設し令和4年度後期に開講した。【共通】 ・リベラルアーツクラス内での自主交流の企画立案を担当教員が具体的に指導するなど学生の活動を支援した。【共通】 ・新入生ゼミナールの成績評価方法について、可否による評定とし、成績評価の不均衡を改善することができた。【共通】 																																	

【評価指標の達成状況】

1) 定量的な評価指標

項目	達成基準	指標の達成状況（見込み）					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)
国家試験合格率 (医大)	(医大) 医師 95%以上 看護師 100%	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ

2) 定性的な評価指標

項目	社会のニーズに応じた人材の育成	指標の達成基準	社会のニーズに応じた人材を育成する取組の有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・京都経済同友会やJA京都など府内の経済団体等との連携を拡大し、経営者等を講師として招聘することで、京都学系科目「京都の経済」の充実を図った。また、「京都の文化と文化財」では、能楽金剛流家元に講義いただくなど、世界的に活躍できる人材の育成に資する講座運営に当たり、履修率を向上させた。【共通】 ・哲学や倫理学の立場からテクノロジーと人間のあるべき関係を考えさせる文理融合科目「技術の人間学」を創設し令和4年度後期に開講した。【共通】 ・リベラルアーツクラス内での自主交流の企画立案を担当教員が具体的に指導するなど学生の活動を支援した。【共通】 		

Ⅲ

Ⅲ

⑥ リカレント教育の充実においては、職業上必要な高度で多様な専門知識や技能の取得への対応、看護師等の復職支援のための再教育プログラムの充実などキャリアパスの多様化や社会人の学び直しニーズなどに的確に対応する。
特に、医科大学では、大学院医学研究科において、地域の医療者のニーズに合わせたキャリア形成や地域における総合医療を担う人材養成科目を設置するとともに、保健看護学研究科においては保健看護の教育研究における看護実践に寄与できる指導者を育成する。
また、府立大学では、府内の自治体職員の研修機能の拡充や地域活性化人材の育成のためのコースを設置するとともに、社会人の履修に適した教育プログラムの開発を推進する。

＜中期計画の実施状況＞

＜令和2～5年度の実績＞

- ・医学研究科博士課程に「法医臨床医・法歯科医・法医専門医養成コース」を設置（R5は7名が在籍）したほか、「インテンシブコース」を開設した。（R4年10月）【医大】
- ・北部医療センターを拠点とした「総合医療・地域医療学講座」を設置した。（R5）【医大】
- ・博士課程「北部キャンパス地域医学コース」を募集を開始した。（R5）【医大】
- ・「臨地実習に携わる看護師のための支援研修」では、附属病院看護師を対象にし、質の高い臨地実習指導を行う看護師養成のための教育プログラムを展開した。【医大】
- ・看護実践キャリアセンターで令和3年度と4年度に潜在看護師・保健師復職支援をオンライン講義等により実施した。【医大】
- ・まいづる赤れんがオフィス、宮津サテライトオフィスを設置し、地域住民の主体的な活動の支援などに取り組んでいる。【府大】
- ・「京都府リカレント教育推進機構」に参画した。（R4年7月～）【府大】
- ・「京都府生涯現役クリエイティブセンター」のリカレント研修に講座を提供し、地域・社会貢献に関する学び直しニーズに対応した。【府大】

【評価指標の達成状況】

2) 定性的な評価指標

項目	人材養成科目の設置	指標の達成基準	地域医療のニーズに合わせた人材育成科目の設置の有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医学研究科博士課程に「法医臨床医・法歯科医・法医専門医養成コース」を設置（R5は7名が在籍）したほか、「インテンシブコース」を開設した。（R4年10月）【医大】 ・北部医療センターを拠点とした総合医療・地域医療学講座を設置した。（R5）【医大】 ・博士課程「北部キャンパス地域医学コース」を募集を開始した。（R5）【医大】 		

Ⅲ

Ⅲ

	項目	看護実践に寄与できる指導者の育成	指標の達成基準	看護実践に寄与できる育成を受けた人材の有無			
	指標の達成状況	・「臨地実習に携わる看護師のための支援研修」では、附属病院看護師を対象にし、質の高い臨地実習指導を行う看護師養成のための教育プログラムを展開した。【医大】					
	項目	学び直しのニーズへの対応	指標の達成基準	リカレント教育に係る取組で新規・拡充したもの			
	指標の達成状況	・看護実践キャリアセンターで令和3年度と4年度に潜在看護師・保健師復職支援をオンライン講義等により実施した。【医大】 ・「京都府リカレント教育推進機構」に参画した。(R4年7月～)【府大】 ・「京都府生涯現役クリエイティブセンター」のリカレント研修に講座を提供し、地域・社会貢献に関する学び直しニーズに対応した。【府大】					

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項

- 1 教育に関する目標
(3) 教育の質保証

中期目標	18歳人口の減少に伴い大学間競争が激しくなる中、両大学をより魅力ある大学にするため、自己点検や外部評価等による授業内容の改善・充実や教員の教育力向上、カリキュラムの検証・改善を図るなど、継続的に教育システムの見直しを行う。
------	---

⑦ 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）が適切に策定され、ディプロマ・ポリシーで求める学修成果が達成されるよう、教育内容の第三者評価や学生アンケート等によるカリキュラムの検証・改善の継続的な実施や教育IR室の設置など、教育内容の検証・改善体制の強化による教学マネジメントを確立するとともに、ナンバリングの導入など科目の体系化や適切な成績評価、学生の満足度調査などを進め、学修成果の可視化と情報の公表を図る。 また、FD研修の充実などにより、対話型授業や課題探求型学習等のアクティブラーニングの拡充など授業内容・方法の改善や教員の教育力の向上を図る。	<p>《中期計画の実施状況》 《令和2～5年度の実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本医学教育評価機構による認証評価を受審した。(R4)【医大】 ・教育プログラム委員会や同評価委員会を設置した。(R5)【医大】 ・共用試験の公的化のため、教育センター内にOSCE及びCBT小委員会を設置した。(R5)【医大】 ・一般財団法人大学教育質保証・評価センターによる「大学機関別認証評価」を受審し、評価基準を満たしていると認定された。(R5)【府大】 ・「eポートフォリオシステム」を導入した。(R3～)【府大】 ・学習管理システム(Moodle)の本格運用を開始した。(R5)【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p>	III	III																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況(見込み)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生による評価</td> <td>(医大)「卒前教育に関するアンケート」学生満足度結果4.0以上 (府大)学生の学習目標達成度4.0以上</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> </tr> </tbody> </table>			項目	指標の達成基準	指標の達成状況(見込み)						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	学生による評価	(医大)「卒前教育に関するアンケート」学生満足度結果4.0以上 (府大)学生の学習目標達成度4.0以上	III	III	III	III	III	III
	項目					指標の達成基準	指標の達成状況(見込み)																		
R2年度		R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)		(R7年度)																		
学生による評価	(医大)「卒前教育に関するアンケート」学生満足度結果4.0以上 (府大)学生の学習目標達成度4.0以上	III	III	III	III	III	III																		

項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)
FD・SD研修参加率	(両大学) FD・SD研修参加率 75%以上 ※年に1回以上FD研修に参加した教員・職員数／全教員・職員数	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
1 教育に関する目標
(4)教育環境の整備・学生への支援

中期目標	多様なニーズを有する学生の受入れが進む中、学生が健康で充実した学生生活を送ることができるようにするため、障がい者や社会人、留学生等を含む多様な学生のニーズに応じた学修・生活支援、経済支援を行うとともに、教育・学修環境の充実を図る。また、キャリア教育やきめ細やかな就職・進学などの進路指導を行い、卒業生の就職を支援する。
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																						
⑧ 入学金・授業料の減免など学生への経済的支援や障がいのある学生への配慮など、学生の修学や生活への相談対応や支援、学生生活における安全管理・健康管理を行う。入学時から卒業まで一貫したキャリア教育、きめ細かい進路相談・指導などにより就職活動の支援を推進するとともに、医科大学では国家試験対策を含めたキャリア形成支援の充実を図る。 また、ラーニングコモন্ズの充実などの学生の自主的な学習環境や、情報機器やネットワーク環境の整備によるICTの活用推進など、教育環境の整備を図る。	<p>《中期計画の実施状況》 《令和2～5年度の実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の修学支援制度の適用に加え、法人独自制度により経済的な支援を実施した。【共通】 ・医学研究科博士課程のフェローシップ（研究専念支援金＋研究費）事業を実施した。【医大】 ・医学研究科修士課程のフェローシップ（研究専念支援金）を開始した。（R5:3名）【医大】 ・原則、第4火曜日に拡大教育センター会議を実施し、医学科の各学年代表を中心に学生が参画した。【医大】 ・メンター制度を導入（R2）。令和5年度からは3・4年次まで対象を拡大した。【医大】 ・教育センター内に「入試室」を令和5年4月に設置した。【医大】 ・府教委との高大連携プログラムを実施した。【医大】 ・医学科・看護学科学生については、原則毎日8時30分までにGoogleフォームに健康状態を入力し、保健管理センターにおいて、適切に把握し管理した。【医大】 ・キャリアサポートセンターに有資格のキャリアアカウンセラーを複数名配置し、多様化するニーズに応じたきめ細かな就職活動支援を実施した。【府大】 ・学内での自習環境拡充のため、新プレハブ学舎に自習室を新設した。（R5.3）【府大】 ・学内Wifi環境を、多人数同時接続に対応する環境に全面更新し、オンライン授業などの増加に対応した。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】 1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国家試験合格率</td> <td>(医大) 医師 95.0%以上、看護師 100% (府大) 管理栄養士 95%以上、社会福祉士 90%以上 ※いずれも新卒者の合格率</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	国家試験合格率	(医大) 医師 95.0%以上、看護師 100% (府大) 管理栄養士 95%以上、社会福祉士 90%以上 ※いずれも新卒者の合格率	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	
項目	指標の達成基準			指標の達成状況（見込み）																						
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																			
国家試験合格率	(医大) 医師 95.0%以上、看護師 100% (府大) 管理栄養士 95%以上、社会福祉士 90%以上 ※いずれも新卒者の合格率	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ																			

2) 定性的な評価指標

項目	学生生活における安全管理・健康管理を行う	指標の達成基準	安全管理・健康管理等生活支援の担当部署の有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医学科・看護学科学生については、原則毎日8時30分までにGoogleフォームに健康状態を入力し、保健管理センターにおいて、適切に把握し管理した。【医大】 ・学習支援室の体制を整備し、常勤コーディネーター1名を配置している。修学上配慮が必要な学生に対し、きめ細かな相談対応や学習環境整備に係る調整を行った。【府大】 		
項目	教育環境の整備	指標の達成基準	教育環境の整備で新規・拡充されるものの有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国の修学支援制度の適用に加え、法人独自制度により経済的な支援を実施した。【共通】 ・医学研究科博士課程のフェローシップ（研究専念支援金＋研究費）事業を実施した。【医大】 ・修学上の配慮が必要な障がい者学生等に対し、合理的配慮に基づいたきめ細かな相談対応や学習環境整備に係る調整を行った。【府大】 ・オンライン授業の増加などに対応する学内wifi環境の全面更新した。【府大】 		

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 2 研究に関する目標を達成するための措置
 (1) 戦略的な研究の推進

中期目標	世界水準の革新的・先端的な研究開発や、地域の課題解決やグローバルな視点に立った先進的な研究を推進するとともに、分野横断的な研究や両大学。京都工芸繊維大学及び京都薬科大学の連携による共同研究を推進する。
------	--

<p>⑨ 医科大学において、革新的な基礎医学研究の推進、先進医療技術に関する研究開発、地域の健康課題の解決やグローバルな視点に立った臨床研究を推進するとともに、最先端の臨床研究・治験を実施する。 また、臨床ニーズを踏まえた基礎研究シーズの発掘・共有・活用により、基礎医学部門と臨床医学部門の連携強化を図るとともに、創薬センターを中心とする新たな医薬品等の研究開発、医療分野における情報工学マネジメントの導入と病院経営への応用研究などを推進する。</p>	<p>＜中期計画の実施状況＞ ＜令和2～5年度の実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医学・医療情報管理学（疾患別レジストリ担当）講座」設置した。（R2）【医大】 ・医療の質の指標となる診療プロセスを集計したデータブックを作成（R3）し、試行的に肺がん患者、先天性心疾患等の患者の症例データ利用等を実施した。（R4・5）【医大】 ・「創薬センター」において、新たな医薬品等に係る企業との共同研究を開始した。（R2）【医大】 ・「長期間の療養環境の追跡」について府全体の患者へ対象を拡大し、レジストリ研究基盤としての活用を開始した。（R5）【医大】 ・厚労省事業「令和5年度地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業」を京都府医療課・京都大学と連携して受託した。（R5）【医大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>項目</th> <th>指標の達成基準</th> <th>指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <td>論文掲載数</td> <td>（医大）1,000本以上 ※活動報告から集計</td> <td>II</td> </tr> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）	論文掲載数	（医大）1,000本以上 ※活動報告から集計	II	III	<p>府立医科大学では、医学・医療情報管理学講座を設置し、疾患別レジストリに取り組むなど、戦略的な研究を推進されている。</p>
項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）							
論文掲載数	（医大）1,000本以上 ※活動報告から集計	II							

<p>⑩ 府立大学において、文化庁との連携や京都学・歴史館との共同の取組などにより、地域文化創生・文化財保護・生活文化・伝統芸能・国際文化交流などに係る共同研究と共同事業の展開を推進する。また、次世代農林業などSDGsに強く関連した最先端の研究を推進する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文化庁連携室」開設（R5.9月）や記念フォーラムを開催した。（R5.3月）【府大】 ・文化庁連携特別授業等を開催した。【府大】 ・京都学・歴史館と文学部の共同企画展示会「府大生∞歴史館コラボで探る京都学」を開催した。【府大】 ・MALUI連携Web「まるまる舞鶴」の運用を開始した。（R5.4～）【府大】 ・京都学・歴史館と共同研究「文化資源発掘プロジェクト」の成果を発信した。【府大】 ・生命環境科学研究科が国立研究開発法人森林総合研究所と連携大学院協定を締結した。（R4）【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 435 1673 595"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>指標の達成基準</th> <th>指標の達成状況（見込み）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>論文掲載数</td> <td>（府大）300本以上（6年間平均） ※活動報告から集計</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 628 1673 879"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>文化庁や京都学・歴史館との共同研究・事業</th> <th>指標の達成基準</th> <th>文化庁や京都学・歴史館との共同研究・事業の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・「文化庁連携室」開設（R5.9月）や記念フォーラムを開催した。（R5.3月）【府大】 ・京都学・歴史館と文学部の共同企画展示会「府大生∞歴史館コラボで探る京都学」を開催した。【府大】 ・MALUI連携Web「まるまる舞鶴」の運用を開始した。（R5.4～）【府大】 ・京都学・歴史館と共同研究「文化資源発掘プロジェクト」の成果を発信した。【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）	論文掲載数	（府大）300本以上（6年間平均） ※活動報告から集計	Ⅲ	項目	文化庁や京都学・歴史館との共同研究・事業	指標の達成基準	文化庁や京都学・歴史館との共同研究・事業の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化庁連携室」開設（R5.9月）や記念フォーラムを開催した。（R5.3月）【府大】 ・京都学・歴史館と文学部の共同企画展示会「府大生∞歴史館コラボで探る京都学」を開催した。【府大】 ・MALUI連携Web「まるまる舞鶴」の運用を開始した。（R5.4～）【府大】 ・京都学・歴史館と共同研究「文化資源発掘プロジェクト」の成果を発信した。【府大】 			<p>Ⅲ</p>	<p>Ⅲ</p>	<p>府立大学では、文化庁と文化財の調査を中心とした連携を行うなど、戦略的な研究に取り組まれている。</p>
項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）																
論文掲載数	（府大）300本以上（6年間平均） ※活動報告から集計	Ⅲ																
項目	文化庁や京都学・歴史館との共同研究・事業	指標の達成基準	文化庁や京都学・歴史館との共同研究・事業の有無															
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化庁連携室」開設（R5.9月）や記念フォーラムを開催した。（R5.3月）【府大】 ・京都学・歴史館と文学部の共同企画展示会「府大生∞歴史館コラボで探る京都学」を開催した。【府大】 ・MALUI連携Web「まるまる舞鶴」の運用を開始した。（R5.4～）【府大】 ・京都学・歴史館と共同研究「文化資源発掘プロジェクト」の成果を発信した。【府大】 																	
<p>⑪ 両大学が連携して、農福連携、防災と環境、長寿と環境・栄養、創薬と臨床・バイオ等の分野の垣根を超えた学際的研究や、地域医療情報の集約・活用を行い、さらに工織大学・京都薬科大学との4大学共同研究を学部と大学院が連携して推進する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・両大学の研究者による共同研究を理事長裁量経費事業として実施した。【共通】 ・「4大学連携研究フォーラム」を毎年開催した。【共通】 ・4大学連携研究では、企業を含めて社会実装につながる新たな枠組で共同研究を実施した。【共通】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 1238 1673 1422"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>4大学共同研究の実施</th> <th>指標の達成基準</th> <th>4大学共同研究の実施の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・4大学共同研究を実施した。（⑤5件、④5件、③5件、②5件） ・4大学の教員や研究者、大学院生等が一堂に会する「4大学連携研究フォーラム」に、教員・学生等が参加した。（⑤179名、④181名、③130名（オンライン）、②194名（オンライン））【共通】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	4大学共同研究の実施	指標の達成基準	4大学共同研究の実施の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4大学共同研究を実施した。（⑤5件、④5件、③5件、②5件） ・4大学の教員や研究者、大学院生等が一堂に会する「4大学連携研究フォーラム」に、教員・学生等が参加した。（⑤179名、④181名、③130名（オンライン）、②194名（オンライン））【共通】 			<p>Ⅲ</p>	<p>Ⅲ</p>							
項目	4大学共同研究の実施	指標の達成基準	4大学共同研究の実施の有無															
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・4大学共同研究を実施した。（⑤5件、④5件、③5件、②5件） ・4大学の教員や研究者、大学院生等が一堂に会する「4大学連携研究フォーラム」に、教員・学生等が参加した。（⑤179名、④181名、③130名（オンライン）、②194名（オンライン））【共通】 																	

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 2 研究に関する目標
 (2) 研究実施・支援体制の充実

中期目標
 大学に求められるニーズが、社会への人材供給に加え、研究成果の還元にも広がる中で、外部資金の獲得、研究成果の社会実装や起業への支援を進めるとともに、研究設備や機器の共同利用や計画的な更新により研究への支援を図る。
 また、グローバル化が進展する中で、国内外の大学、医療機関、試験研究機関等との連携によるオープンな研究体制と研究環境の整備を図る。

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																																												
⑫ 大学院を中心に共同研究講座や寄附講座の設置、学術研究を目的とした奨学寄付金など外部資金の獲得を支援するとともに、リサーチ・アドミニストレーター、プロジェクトマネージャー、コーディネーターの配置や事務部門による研究支援体制の強化を行う。	≪中期計画の実施状況≫ <令和2～5年度の実績> ・「臨床研究推進センター」について、プロジェクトマネージャーを増員し、研究マネジメント部門を強化した。(R5)【医大】 ・産学公連携機構「京都府立医科大学Medical Innovation Core for Society (K-MICS)」を新たに設置し、産学公連携による研究推進を図った。【医大】 ・産学公連携リエゾンオフィスとして京都地域未来創造センターから独立し、リサーチ・アドミニストレーター及びコーディネーターを配置し、競争的資金の公募情報をこまめに提供するなどして、研究支援体制の強化を図った。【府大】 ・関西スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC) に参加し、スタートアップ・エコシステム共創プログラムに参画するなど、大型研究プロジェクト採択に向け、学内体制の強化を図った。【府大】 【評価指標の達成状況】 1) 定量的な評価指標 <table border="1" data-bbox="696 979 1671 1161"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況(見込み)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>科学研究費など国等の競争的資金獲得件数</td> <td>(医大) 450件以上 (府大) 100件以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="696 1174 1671 1340"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況(見込み)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業界等からの共同研究・受託等件数</td> <td>(医大) 70件以上 (府大) 70件以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況(見込み)						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	科学研究費など国等の競争的資金獲得件数	(医大) 450件以上 (府大) 100件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	項目	指標の達成基準	指標の達成状況(見込み)						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	産業界等からの共同研究・受託等件数	(医大) 70件以上 (府大) 70件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	両大学では、産学公連携機構(K-MICS)、産学公連携リエゾンオフィスの設置、京都クオリアフォーラムへの参加等、産学公連携の推進に取り組まれている。
項目	指標の達成基準			指標の達成状況(見込み)																																												
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																																									
科学研究費など国等の競争的資金獲得件数	(医大) 450件以上 (府大) 100件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ																																									
項目	指標の達成基準	指標の達成状況(見込み)																																														
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																																									
産業界等からの共同研究・受託等件数	(医大) 70件以上 (府大) 70件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ																																									

⑬ 大型研究設備・研究機器の共同利用や計画的な更新、附属図書館の機能強化など、研究の支援体制を充実させるとともに、若手研究者・女性研究者の研究環境整備や育成支援、外国人研究者・教員の受入体制を整備する。

《中期計画の実施状況》
 <令和2～5年度の実績>

- ・中央研究室における老朽化した既存の研究機器等の修繕、更新を計画的に実施した。【医大】
- ・フューチャーステップ研究員の雇用、研究支援員雇用事業による若手女性医師の研究活動支援を実施した。【医大】
- ・外国人研究者・教員の受入の際してフォローアップを実施した。【医大】
- ・電子ジャーナル等、学術情報を維持・充実させた。【共通】
- ・学術機関リポジトリによる研究成果を積極的に発信した。【共通】

【評価指標の達成状況】

1) 定量的な評価指標

項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)
科学研究費など国等の競争的資金獲得件数	(医大) 450件以上 (府大) 100件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ

項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)
産業界等からの共同研究・受託等件数	(医大) 70件以上 (府大) 70件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ

Ⅲ

Ⅲ

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 2 研究に関する目標
 (3) オープンな研究の推進

中期目標	グローバル化が進展する中で、国内外の大学、医療機関、試験研究機関等との連携によるオープンな研究体制と研究環境の整備を図る。
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																						
⑭ 教員間の交流組織や全学的な研究体制の構築や、大学や企業、行政等との連携によるオープンな共同研究の推進と研究環境の整備を図るとともに、国際センターの機能強化及び海外の交流協定締結校との相互交流により、教員の海外派遣と受入を促進し、国際的な共同研究を推進する。	<p>≪中期計画の実施状況≫ ≪令和2～5年度の実績≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A Iホスピタル／疾患レジストリ」をテーマにフォーラムを開催した。(R2)【医大】 ・産学連携コンソーシアム「京都クオリアフォーラム」のワーキンググループに積極的に参画し、産学連携による研究環境を整備するとともに、共同研究を推進した。(R4)【共通】 ・マーストリヒト大学と「Scientific Symposium」を開催した。(R3)【医大】 ・国際シンポジウムを開催した。(R4)【医大】 ・シドニー大学との学生相互交流協定の締結に向けて、お互いの学生派遣のテストランを実施することとし、2名の留学生を受け入れた。 ・新たにロス・アンデス大学医学部(チリ)との間に学生相互交流協定を締結した。【医大】 ・(一社)京都知恵産業創造の森と共同研究を行った。【府大】 ・英語圏を中心に協定校の開拓に取り組み、ボストン大学(アメリカ)、西オーストラリア州立大学(オーストラリア)等、14校と新たに協定を締結した。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況(見込み)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業界等からの共同研究・受託等件数</td> <td>(医大) 70件以上 (府大) 70件以上</td> <td style="text-align: center;">III</td> <td style="text-align: center;">III</td> <td style="text-align: center;">III</td> <td style="text-align: center;">II</td> <td style="text-align: center;">III</td> <td style="text-align: center;">III</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況(見込み)						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	産業界等からの共同研究・受託等件数	(医大) 70件以上 (府大) 70件以上	III	III	III	II	III	III	III	III	両大学では、産学公連携機構(K-MICS)、産学公連携リエゾンオフィスの設置、京都クオリアフォーラムへの参加等、産学公連携の推進に取り組まれている。
項目	指標の達成基準			指標の達成状況(見込み)																						
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																			
産業界等からの共同研究・受託等件数	(医大) 70件以上 (府大) 70件以上	III	III	III	II	III	III																			

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 3 地域貢献に関する目標
 (1) 府や府内市町村、地域との連携

中期目標
 行政課題の解決や、地域振興・教育・文化・保健・福祉等の事業の推進に貢献するため、医科大学及び府立大学がシンクタンクとして、地域課題に関する調査・研究・提言や共同研究を実施する。また、府内各地域の行政や地域の活性化に資する人材の育成や、学生による地域貢献活動等の支援を行い、卒業生の府内での就職を促進する。

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																																																				
⑮ 自治体や府内企業等との連携を強化し、学生に対して府内を中心とした魅力ある企業・医療機関・自治体に係る情報の提供や就職相談を行うこと等により、卒業生の府内就職の促進に努め、優秀な人材の府内定着を推進する。	≪中期計画の実施状況≫ <令和2～5年度の実績> <ul style="list-style-type: none"> ・行政従事医師として、府本庁、府保健所等の行政機関等へ医師を派遣した。【医大】 ・多数の府内企業が参加する合同企業研究会を継続して開催した。【府大】 【評価指標の達成状況】 1) 定量的な評価指標 <table border="1" data-bbox="694 710 1668 869"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の府内就職率</td> <td>(医大) 医学科 70%以上 看護学科 70%以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="694 893 1668 1053"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期臨床研修後の医師の府内就職率</td> <td>(医大) 80%以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table> 2) 定性的な評価指標 <table border="1" data-bbox="694 1117 1668 1300"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>卒業生の府内定着の推進</th> <th>指標の達成基準</th> <th>卒業生の府内定着を推進する取組の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜を実施した。【医大】 ・多数の府内企業が参加する合同企業研究会を継続して開催した。【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	学生の府内就職率	(医大) 医学科 70%以上 看護学科 70%以上	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	初期臨床研修後の医師の府内就職率	(医大) 80%以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	項目	卒業生の府内定着の推進	指標の達成基準	卒業生の府内定着を推進する取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜を実施した。【医大】 ・多数の府内企業が参加する合同企業研究会を継続して開催した。【府大】 			Ⅲ	Ⅲ	
項目	指標の達成基準			指標の達成状況（見込み）																																																				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																																																	
学生の府内就職率	(医大) 医学科 70%以上 看護学科 70%以上	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ																																																	
項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）																																																						
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																																																	
初期臨床研修後の医師の府内就職率	(医大) 80%以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ																																																	
項目	卒業生の府内定着の推進	指標の達成基準	卒業生の府内定着を推進する取組の有無																																																					
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜を実施した。【医大】 ・多数の府内企業が参加する合同企業研究会を継続して開催した。【府大】 																																																							

<p>⑯ 府立大学では京都地域未来創造センターをはじめとして、府や府内市町村、府民やNPO、産業界等と連携した地域における福祉、災害対策、産業振興等の課題に関する調査・研究・政策提言などのシンクタンク機能を強化するとともに、教員や学生による地域貢献活動を推進する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に関わる調査・研究を実施する地域貢献型特別研究（ACTR）に取り組んでいる。【府大】 ・まいづる赤れんがオフィス、宮津サテライトオフィスを設置し、地域住民の主体的な活動の支援などに取り組んでいる。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 352 1673 579"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>指標の達成基準</th> <th>指標の達成状況（見込み）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府内自治体との連携件数</td> <td>（府大）300件以上 ※連携内容：自治体委員就任、ACTR等の調査・研究、地域文化セミナー等の自治体への出講、受託研究・受託事業</td> <td>Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）	府内自治体との連携件数	（府大）300件以上 ※連携内容：自治体委員就任、ACTR等の調査・研究、地域文化セミナー等の自治体への出講、受託研究・受託事業	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	府立大学では、まいづる赤れんがオフィス、宮津サテライトオフィスを設置される等、地域との連携を推進されている。
項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）								
府内自治体との連携件数	（府大）300件以上 ※連携内容：自治体委員就任、ACTR等の調査・研究、地域文化セミナー等の自治体への出講、受託研究・受託事業	Ⅱ								

Ⅱ 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 3 地域貢献に関する目標
 (2)文化庁等との連携

中期目標	暮らしの中に息づく伝統文化・生活文化を継承・発展・振興するため、京都に移転する文化庁や他の大学等関係機関と連携して共同研究等を行い、研究成果を地域に還元することで、地域における文化活動・産業の振興に貢献する。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等
⑰ 文化庁や他の教育研究機関との連携による共同授業や共同研究などの教育研究活動の強化を図り、文化の振興、文化財の保存と活用や地域の文化の継承・発展に活躍できる人材の育成を図るとともに、その教育・研究の成果を地域における文化的価値の再認識と共有によるコミュニティの再生と活性化、文化芸術の発展や文化活動・産業の振興に活かすなど、社会への還元を推進する。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁や文化財保護団体等と連携した「京都の文化と文化財」、「資料で親しむ京都学」を開講した。【共通】 ・学内に「文化庁連携室」を開設した。（R5年9月）【府大】 ・文化庁職員の附属図書館の利用については、令和5年4月から本学の共同研究員に準じた対応を行っており、同庁職員を対象とした説明会も実施した。【府大】 ・京都府庁旧本館にて「文化庁連携特別授業」を開催した。【府大】 ・歴史学科のACTRで文化庁文化財調査官を招聘し、文化庁と地域の文化財関係者・学生との交流を進めた。【府大】 	Ⅲ	Ⅲ	府立大学では、まいづる赤れんがオフィス、宮津サテライトオフィスを設置される等、地域との連携を推進されている。

	【評価指標の達成状況】	Ⅲ	Ⅲ					
	1) 定量的な評価指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>指標の達成基準</th> <th>指標の達成状況（見込み）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府内自治体との連携件数</td> <td>（府大）300件以上 ※連携内容：自治体委員就任、ACTR等の調査・研究、地域文化セミナー等の自治体への出講、受託研究・受託事業</td> <td>Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）	府内自治体との連携件数	（府大）300件以上 ※連携内容：自治体委員就任、ACTR等の調査・研究、地域文化セミナー等の自治体への出講、受託研究・受託事業	Ⅱ	
項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						
府内自治体との連携件数	（府大）300件以上 ※連携内容：自治体委員就任、ACTR等の調査・研究、地域文化セミナー等の自治体への出講、受託研究・受託事業	Ⅱ						

Ⅱ 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項 2 研究に関する目標 (3)産学官連携の推進

中期目標	大学で創出された研究成果を社会や地域に還元するため、府内企業や関係機関等との共同研究の拡充、和食文化等を活用した地域の産業振興や活性化への支援を行う。
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																						
⑩ 学内リソースを活かして府内企業や農林水産業等の地域のニーズに応えとともに、産学公連携による新たな製品開発や産業の創出につながる研究を推進する。さらに、和食文化に関わる産業の振興や食文化を活用した地域活性化を支援する。また、リエゾンオフィスの機能強化によるシーズ発掘、知的財産管理、研究成果を活かした技術移転・技術指導や、大学発ベンチャーへの支援等を推進する。	<<中期計画の実施状況>> <令和2～5年度の実績> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究推進センターにURA部門長を配置し産学公連携窓口をワンストップ化した。(R2) 【医大】 ・研究シーズ集を発行(R3)。随時更新し、令和5年にWEB版へ完全移行した。【医大】 ・技術移転機関と毎月報告会を開催した。【医大】 ・産学公連携機構「京都府立医科大学Medical Innovation Core for Society (K-MICS)」の設立に向けた準備を行った。(再掲) 【医大】 ・「関西スタートアップ・アカデミックコアリション (KSAC)」に令和4年度から加入(協力機関)。令和5年度からKSACに共同機関として参画し、大学発ベンチャー起業支援を強化した。【府大】 ・和食文化連続講座を、和食関係団体の広報協力、農林水産省ホームページへの掲載も得て開催した。【府大】 																									
	【評価指標の達成状況】 1) 定量的な評価指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業界等からの共同研究・受託等件数</td> <td>（医大）70件以上 （府大）70件以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅱ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	産業界等からの共同研究・受託等件数	（医大）70件以上 （府大）70件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	
項目	指標の達成基準			指標の達成状況（見込み）																						
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																			
産業界等からの共同研究・受託等件数	（医大）70件以上 （府大）70件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ																			

2) 定性的な評価指標				
項目	リエゾンオフィスの機能強化	指標の達成基準	リエゾンオフィスの機能強化による取組の新規・拡充の有無	
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・研究シーズ集を発行（R3）。随時更新し、令和5年にWEB版へ完全移行した。【医大】 ・技術移転機関と毎月報告会を開催した。【医大】 ・「関西スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC）」に令和4年度から加入（協力機関）。令和5年度からKSACに共同機関として参画し、大学発ベンチャー起業支援を強化した。【府大】 			

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 3 地域貢献に関する目標
 (4) 地域医療への貢献

中期目標	<p>人口構造等の変化や慢性疾患増加といった疾病構造の変化など、地域医療を取り巻く環境が変化中、がん対策や周産期医療など、府の政策医療と連携を図る。また、京都府における医療水準の向上に貢献するため、病連携・病診連携の強化や医師確保が困難な地域への医師の配置や養成を行うとともに、地域の医療、保健、介護及び福祉の各分野の関係機関との連携を強化し、京都府が行う地域包括ケアの取組を支援する。</p>
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																
⑬ がん対策や周産期医療、難病、災害医療等の府の政策医療への連携や、府北部地域等の医師確保困難地域に赴任する医師の養成や派遣環境の整備により、府内の地域医療の提供に貢献するとともに、多職種協働による在宅・地域医療の仕組みづくり（地域包括ケア）に貢献する。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政従事医師として、府本庁、府保健所等の行政機関等へ医師を派遣した。【医大】 ・府北部地域等への医師派遣した。（R2～5 1,516名）【医大】 ・本人及び家族、市町のケアマネージャー、訪問看護ステーション看護師、地域のかかりつけ医、当院医師・看護師、地域連携室相談員等の関係者による多職種の退院前カンファレンスをこれまで44件実施した。【医大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>府内の地域医療の提供に貢献</td> <td>指標の達成基準</td> <td>地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無</td> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・行政従事医師として、府本庁、府保健所等の行政機関等へ医師を派遣した。【医大】 ・府北部地域等への医師派遣した。（R2～5 1,516名）【医大】 </td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>在宅・地域医療の仕組みづくり（地域包括ケア）に貢献</td> <td>指標の達成基準</td> <td>地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無</td> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・本人及び家族、市町のケアマネージャー、訪問看護ステーション看護師、地域のかかりつけ医、当院医師・看護師、地域連携室相談員等の関係者による多職種の退院前カンファレンスをこれまで44件実施した。【医大】 </td> </tr> </table>	項目	府内の地域医療の提供に貢献	指標の達成基準	地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・行政従事医師として、府本庁、府保健所等の行政機関等へ医師を派遣した。【医大】 ・府北部地域等への医師派遣した。（R2～5 1,516名）【医大】 			項目	在宅・地域医療の仕組みづくり（地域包括ケア）に貢献	指標の達成基準	地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人及び家族、市町のケアマネージャー、訪問看護ステーション看護師、地域のかかりつけ医、当院医師・看護師、地域連携室相談員等の関係者による多職種の退院前カンファレンスをこれまで44件実施した。【医大】 			III	III	府立医科大学では、府本庁及び府内保健所等の行政機関に医師の派遣を行うとともに、医師不足が特に深刻な府北部地域の医療機関に延べ1,516名の医師の派遣を行うなど、府内の地域医療の提供に貢献されている。
項目	府内の地域医療の提供に貢献	指標の達成基準	地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無																	
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・行政従事医師として、府本庁、府保健所等の行政機関等へ医師を派遣した。【医大】 ・府北部地域等への医師派遣した。（R2～5 1,516名）【医大】 																			
項目	在宅・地域医療の仕組みづくり（地域包括ケア）に貢献	指標の達成基準	地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無																	
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本人及び家族、市町のケアマネージャー、訪問看護ステーション看護師、地域のかかりつけ医、当院医師・看護師、地域連携室相談員等の関係者による多職種の退院前カンファレンスをこれまで44件実施した。【医大】 																			

<p>⑳ 疾患レジストリを構築しゲノム情報などを蓄積することにより、地域の医療情報の共有と疾患特性の蓄積・分析を行うとともに、疾病の本態解明や創薬、疫学研究成果の還元による地域の健康づくりや府民の疾患予防対策に貢献する。</p>	<p>≪中期計画の実施状況≫ ≪令和2～5年度の実績≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医学・医療情報管理学（疾患別レジストリ担当）講座」設置した。（R2）【医大】 ・医療の質の指標となる診療プロセスを集計したデータブックを作成（R3）し、試行的に肺がん患者、先天性心疾患等の患者の症例データ利用等を実施した。（R4・5）【医大】 ・「創薬センター」において、新たな医薬品等に係る企業との共同研究を開始した。（R2）【医大】 ・「長期間の療養環境の追跡」について府全体の患者へ対象を拡大し、レジストリ研究基盤としての活用を開始した。（R5）【医大】 ・厚労省事業「令和5年度地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業」を京都府医療課・京都大学と連携して受託した。（R5）【医大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 491 1668 766"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 491 795 539">項目</th> <th data-bbox="795 491 1146 539">地域の健康づくりや府民の疾患予防対策に貢献</th> <th data-bbox="1146 491 1243 539">指標の達成基準</th> <th data-bbox="1243 491 1664 539">地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="698 539 795 766">指標の達成状況</td> <td colspan="3" data-bbox="795 539 1664 766"> <ul style="list-style-type: none"> ・「医学・医療情報管理学（疾患別レジストリ担当）講座」設置した。（R2）【医大】 ・医療の質の指標となる診療プロセスを集計したデータブックを作成（R3）し、試行的に肺がん患者、先天性心疾患等の患者の症例データ利用等を実施した。（R4・5）【医大】 ・「創薬センター」において、新たな医薬品等に係る企業との共同研究を開始した。（R2）【医大】 ・「長期間の療養環境の追跡」について府全体の患者へ対象を拡大し、レジストリ研究基盤としての活用を開始した。（R5）【医大】 ・厚労省事業「令和5年度地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業」を京都府医療課・京都大学と連携して受託した。（R5）【医大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	地域の健康づくりや府民の疾患予防対策に貢献	指標の達成基準	地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「医学・医療情報管理学（疾患別レジストリ担当）講座」設置した。（R2）【医大】 ・医療の質の指標となる診療プロセスを集計したデータブックを作成（R3）し、試行的に肺がん患者、先天性心疾患等の患者の症例データ利用等を実施した。（R4・5）【医大】 ・「創薬センター」において、新たな医薬品等に係る企業との共同研究を開始した。（R2）【医大】 ・「長期間の療養環境の追跡」について府全体の患者へ対象を拡大し、レジストリ研究基盤としての活用を開始した。（R5）【医大】 ・厚労省事業「令和5年度地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業」を京都府医療課・京都大学と連携して受託した。（R5）【医大】 			III	III	
項目	地域の健康づくりや府民の疾患予防対策に貢献	指標の達成基準	地域医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「医学・医療情報管理学（疾患別レジストリ担当）講座」設置した。（R2）【医大】 ・医療の質の指標となる診療プロセスを集計したデータブックを作成（R3）し、試行的に肺がん患者、先天性心疾患等の患者の症例データ利用等を実施した。（R4・5）【医大】 ・「創薬センター」において、新たな医薬品等に係る企業との共同研究を開始した。（R2）【医大】 ・「長期間の療養環境の追跡」について府全体の患者へ対象を拡大し、レジストリ研究基盤としての活用を開始した。（R5）【医大】 ・厚労省事業「令和5年度地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業」を京都府医療課・京都大学と連携して受託した。（R5）【医大】 											

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
3 地域貢献に関する目標
(5) 生涯学習の推進

中期目標	人生100年時代を迎える中、府民に多様な学びを提供するため、府民の生涯教育の充実を図るとともに、府民に開かれた大学として、大学施設の府民への開放や地域との交流などを推進する。
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等								
⑳ 研究成果を活かした公開講座や公開イベント等の開催による府民の学習機会の拡大を図るとともに、次世代の人材育成に向けた小中学生・高校生などを対象とした大学の授業や研究体験機会の充実を図る。 また、大学グラウンドや体育館などスポーツ施設や附属図書館など大学施設を府民に開放するとともに、施設を活用して地域との交流活動を推進する。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスを実施。令和5年度に初めて対面とWeb併用のハイブリッドで開催し、開催後に当日の動画をオンデマンド配信した。【医大】 ・「府立医大公開講座」を開催。令和5年度は高大連携の取組として高校生の参加枠を設け、入試広報と関連付けて実施した。【医大】 ・「府民公開講座」を開催した。【医大】 ・TV・ラジオ等による健康教育番組を配信した。【医大】 ・出張授業、高校生インターンシップの受入れを実施した。【医大】 ・新自然史科学創生センター・府立植物園共催で、植物園をフィールドに小学生を対象とした新自然史サイエンスツアー等を実施した。【府大】 ・府立植物園開園100周年を記念した公開講座「サイエンスレクチャー」を開催した。【府大】 ・附属演習林において、府民対象の野外セミナーを実施した。【府大】 ・附属農場において、農場体験講座「農場ユーカーチャーデー」を開催するとともに、中学生の職場体験学習（農作業などの体験）を受け入れた。【府大】 ・学研推進機構の協力により学研地域の大学が連携した市民公開講座を開催するとともに、「けいはんな科学体験フェスティバル」でサイエンス体験ワークショップを実施した。【府大】 ・教室やプロムナードを貸し出したイベントの開催や、グラウンド、テニスコート、附属図書館の府民開放を行った。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 40%;">大学の授業や研究体験機会の充実を図る</th> <th style="width: 10%;">指標の達成基準</th> <th style="width: 40%;">リカレント・生涯教育に係る取組で新規・拡充したものの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「府立医大公開講座」を開催。令和5年度は、高大連携の取組として、高校生の参加枠を設け、入試広報と関連付けて実施した。【医大】 ・「府民公開講座」を開催した。【医大】 ・TV・ラジオ等による健康教育番組を配信した。【医大】 ・学研推進機構の協力により学研地域の大学が連携した市民公開講座を開催するとともに、「けいはんな科学体験フェスティバル」でサイエンス体験ワークショップを実施した。【府大】 </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	大学の授業や研究体験機会の充実を図る	指標の達成基準	リカレント・生涯教育に係る取組で新規・拡充したものの有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「府立医大公開講座」を開催。令和5年度は、高大連携の取組として、高校生の参加枠を設け、入試広報と関連付けて実施した。【医大】 ・「府民公開講座」を開催した。【医大】 ・TV・ラジオ等による健康教育番組を配信した。【医大】 ・学研推進機構の協力により学研地域の大学が連携した市民公開講座を開催するとともに、「けいはんな科学体験フェスティバル」でサイエンス体験ワークショップを実施した。【府大】 			III	III	
項目	大学の授業や研究体験機会の充実を図る	指標の達成基準	リカレント・生涯教育に係る取組で新規・拡充したものの有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「府立医大公開講座」を開催。令和5年度は、高大連携の取組として、高校生の参加枠を設け、入試広報と関連付けて実施した。【医大】 ・「府民公開講座」を開催した。【医大】 ・TV・ラジオ等による健康教育番組を配信した。【医大】 ・学研推進機構の協力により学研地域の大学が連携した市民公開講座を開催するとともに、「けいはんな科学体験フェスティバル」でサイエンス体験ワークショップを実施した。【府大】 											

	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>施設を活用した地域との交流活動の推進</th> <th>指標の達成基準</th> <th>施設を活用した地域との交流活動に係る取組の有無</th> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 出張授業、高校生インターンシップの受入れを実施した。【医大】 新自然史科学創生センター・府立植物園共催で、植物園をフィールドに小学生を対象とした新自然史サイエンスツアー等を実施した。【府大】 府立植物園開園100周年を記念した公開講座「サイエンスレクチャー」を開催した。【府大】 附属演習林において、府民対象の野外セミナーを実施した。【府大】 附属農場において、農場体験講座「農場ユールチャーデー」を開催するとともに、中学生の職場体験学習（農作業などの体験）を受け入れた。【府大】 </td> </tr> </table>	項目	施設を活用した地域との交流活動の推進	指標の達成基準	施設を活用した地域との交流活動に係る取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 出張授業、高校生インターンシップの受入れを実施した。【医大】 新自然史科学創生センター・府立植物園共催で、植物園をフィールドに小学生を対象とした新自然史サイエンスツアー等を実施した。【府大】 府立植物園開園100周年を記念した公開講座「サイエンスレクチャー」を開催した。【府大】 附属演習林において、府民対象の野外セミナーを実施した。【府大】 附属農場において、農場体験講座「農場ユールチャーデー」を開催するとともに、中学生の職場体験学習（農作業などの体験）を受け入れた。【府大】 					
項目	施設を活用した地域との交流活動の推進	指標の達成基準	施設を活用した地域との交流活動に係る取組の有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 出張授業、高校生インターンシップの受入れを実施した。【医大】 新自然史科学創生センター・府立植物園共催で、植物園をフィールドに小学生を対象とした新自然史サイエンスツアー等を実施した。【府大】 府立植物園開園100周年を記念した公開講座「サイエンスレクチャー」を開催した。【府大】 附属演習林において、府民対象の野外セミナーを実施した。【府大】 附属農場において、農場体験講座「農場ユールチャーデー」を開催するとともに、中学生の職場体験学習（農作業などの体験）を受け入れた。【府大】 											

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 4 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標
 (1)高度・先端医療の提供

中期目標	がん患者の遺伝子情報を調べて患者に応じて最適な治療に活かすがんゲノム医療をはじめ、予防から治療まで一貫したがん医療提供体制を構築するなど、患者本位の質の高い医療と先端医療を提供する。
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等								
⑳ 特定機能病院の承認条件であるがん治療、再生医療や細胞移入療法等の高度医療の提供に努めるとともに、ハイブリッド手術室やナビゲーションシステムの拡充、AIによる高度医療診断、遠隔医療等ICT化の推進など、世界最先端の知見と技術力を生かした医療を府民や地域に提供する。 また、「永守記念最先端がん治療研究センター」を拠点として予防・診断・治療・創薬までの一貫した最先端がん医療体制を構築する。	<p>＜中期計画の実施状況＞ ＜令和2～5年度の実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「遠隔病理診断システム」を構築（病理診断支援や助言）した。【医大】 「周産期医療ネットワーク」事業を展開した。【医大】 「永守記念最先端がん治療研修センター」を運営し、予防・診断（PET検査、ゲノム遺伝子検査）、治療（陽子線）、創薬（PET検査室における治験協力）を行った。【医大】 ICUを5床増床し、重症コロナ感染症患者に対してもより高度かつ安全な治療体制を提供できるEICUとして運用を開始した。【医大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>世界最先端の知見と技術力を生かした医療を提供</th> <th>指標の達成基準</th> <th>高度医療の提供及び最先端医療導入に係る取組で新規・拡充したものの有無</th> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 「遠隔病理診断システム」を構築（病理診断支援や助言）した。【医大】 「周産期医療ネットワーク」事業を展開した。【医大】 ICUを5床増床し、重症コロナ感染症患者に対してもより高度かつ安全な治療体制を提供できるEICUとして運用を開始した。【医大】 </td> </tr> </table>	項目	世界最先端の知見と技術力を生かした医療を提供	指標の達成基準	高度医療の提供及び最先端医療導入に係る取組で新規・拡充したものの有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 「遠隔病理診断システム」を構築（病理診断支援や助言）した。【医大】 「周産期医療ネットワーク」事業を展開した。【医大】 ICUを5床増床し、重症コロナ感染症患者に対してもより高度かつ安全な治療体制を提供できるEICUとして運用を開始した。【医大】 			III	III	
項目	世界最先端の知見と技術力を生かした医療を提供	指標の達成基準	高度医療の提供及び最先端医療導入に係る取組で新規・拡充したものの有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 「遠隔病理診断システム」を構築（病理診断支援や助言）した。【医大】 「周産期医療ネットワーク」事業を展開した。【医大】 ICUを5床増床し、重症コロナ感染症患者に対してもより高度かつ安全な治療体制を提供できるEICUとして運用を開始した。【医大】 											

	項目	最先端がん医療体制を構築	指標の 達成基準	最先端がん医療体制構築に係る取組の有無			
	指標の 達成状況	・「永守記念最先端がん治療研修センター」を運営し、予防・診断（PET検査、ゲノム遺伝子検査）、治療（陽子線）、創薬（PET検査室における治験協力）を行った。【医大】					

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 4 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標
 (2) 地域医療との連携・地域医療人材の育成

中期 目標	府民の生命と健康を守るため、中核的医療機関として、地域における医療、保健、介護及び福祉の向上、災害時の対応に貢献するとともに、地域の医療従事者の資質の向上やキャリアアップの支援を行う。
----------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評 価	委員会 評価	評価委員会コメント等
⑳ 府民医療の最後の砦としての機能を担い、日常の診療や関連病院との役割分担による地域医療の充実、病病連携・病診連携推進、救急医療体制の充実を図るとともに、政策医療を担う病院として、がん診療拠点病院、小児がん拠点病院、周産期医療、肝疾患拠点病院等の診療や相談機能の充実を図り、府の政策と一体となった政策医療の実現に取り組む。 また、災害拠点病院として災害発生時における病院機能を維持し、救急医療等の機能を発揮できる設備や体制の充実強化を図るとともに、DMATの災害時支援体制を強化する。 特に、附属北部医療センターにおいては、医科大学の病院として一体的な運営を推進するとともに、北部地域の医療ニーズに対応して地域医療機関への医師派遣や連携強化、救急医療の拡充等を図り、府北部地域の医療の充実に努める。	<<中期計画の実施状況>> <令和2～5年度の実績> ・大学院医学研究科博士課程に「北部キャンパス地域医学コース」を新設した。【医大】 ・手術療法や放射線療法、薬物療法に陽子線治療やがんゲノム医療を加えて患者に最適な治療を提供。また地域の医療機関と連携し、患者への緩和ケアや妊孕性温存療法等の支援を推進した。【医大】 ・第3次救急医療機関として「救命救急センター」の指定を受けて救急患者の受け入れ体制等を強化した。【医大】 ・コロナの5類移行後も、コロナ病床確保、発熱外来設置等を継続した。【医大】 ・がん診療棟で、外来化学療法、PET-CT検査、リニアック放射線治療を開始した。(R2) 【医大】 ・口腔ケアを目的とした歯科口腔外科を開設した。(R3.3月) 【医大】 ・DMAT隊員(医師)を1名増員した。「丹後災害医療連絡会」を開催するとともに、局地災害を想定した対応訓練及び大規模災害を想定した対応訓練を実施した。【医大】 ・地域医療機関からの要請に基づき、医師派遣を実施した。【医大】 ・救急医療支援システムを稼働させた。(R4) 【医大】			

【評価指標の達成状況】

1) 定量的な評価指標

項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)
患者紹介率	(医大) 附属病院 80%以上 北部医療センター55%以上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ

項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)
患者逆紹介率	(医大) 附属病院 70%以上 北部医療センター100%以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ

2) 定性的な評価指標

項目	政策医療の実現の取組	指標の達成基準	政策医療の実現に係る取組で新規・拡充したものの有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・手術療法や放射線療法、薬物療法に陽子線治療やがんゲノム医療を加えて患者に最適な治療を提供。また地域の医療機関と連携し、患者への緩和ケアや妊孕性温存療法等の支援を推進した。【医大】 ・がん診療棟で、外来化学療法、PET-CT検査、リニアック放射線治療を開始した。(R2) 【医大】 		

項目	災害時支援体制の強化	指標の達成基準	災害時支援体制の強化に係る取組で新規・拡充したものの有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次救急医療機関として「救命救急センター」の指定を受けて救急患者の受け入れ体制等を強化した。【医大】 ・コロナの5類移行後も、コロナ病床確保、発熱外来設置等を継続した。【医大】 ・DMAT隊員（医師）を1名増員した。「丹後災害医療連絡会」を開催するとともに、局地災害を想定した対応訓練及び大規模災害を想定した対応訓練を実施した。【医大】 ・救急医療支援システムを稼働させた。(R4) 【医大】 		

項目	府北部地域の医療の充実	指標の達成基準	府北部地域の医療の提供に係る取組で新規・拡充したものの有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関からの要請に基づき、医師派遣を実施した。【医大】 		

Ⅲ

Ⅲ

⑭ 病院における臨床実習を充実させることにより、命の尊さと心身の痛みのわかる人間性豊かで高度な医療知識・技術を持つ優秀な医師・看護師を育成するとともに、地域医療・チーム医療マインドを持つ医療人の育成のため、卒前・卒後における教育の連携・臨床教育を大学の学部・大学院・附属病院が全体として一貫して行う体制の整備や、関連病院・関係施設との連携による教育プログラムの整備を一層進める。
また、地域医療機関の医師・看護師・メディカルスタッフ職種に対する高度医療の実習・再教育プログラム等の充実や研究支援、看護実践キャリア開発センターの機能強化等により、地域の医療従事者の資質向上やキャリア形成を支援する。

＜中期計画の実施状況＞
＜令和2～5年度の実績＞

- ・「卒後臨床研修センター」と教育センターが連携した実習、説明会及び講習会を開催し、連携を強化した。【医大】
- ・地域医療研修先の拡充を図り、学内での研修体制の充実及び他院からの初期研修医・後期研修医の受入体制を整備した。【医大】
- ・「看護師特定行為研修」を実施した。【医大】
- ・「緩和ケアを推進する看護師養成」プログラムを実施した。【医大】
- ・看護専門分野別講座、ジェネラリスト研修、看護研究交流会を実施した。【医大】
- ・「臨地実習に携わる看護師のための支援研修」では、附属病院看護師を対象にし、質の高い臨地実習指導を行う看護師養成のための教育プログラムを展開した。【医大】
- ・府立看護学校と実習開始前後に合同連絡会議を開催した。【医大】
- ・府立看護学校の教員と実習指導者で事例検討等を実施した。【医大】
- ・大学院特別講義や地域の医師会と連携した症例検討会や研修医勉強会を行い、地域の医療従事者の資質向上を支援した。【医大】

【評価指標の達成状況】

2) 定性的な評価指標

項目	地域医療を担うにふさわしい医療人を育成する教育プログラムの整備	指標の達成基準	地域医療を担うにふさわしい医療人を育成する教育プログラムの整備について新規・拡充したものの有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「卒後臨床研修センター」と教育センターが連携した実習、説明会及び講習会を開催し、連携を強化した。【医大】 ・地域医療研修先の拡充を図り、学内での研修体制の充実及び他院からの初期研修医・後期研修医の受入体制を整備した。【医大】 ・「看護師特定行為研修」を実施した。【医大】 ・「緩和ケアを推進する看護師養成」プログラムを実施した。【医大】 ・看護専門分野別講座、ジェネラリスト研修、看護研究交流会を実施した。【医大】 ・「臨地実習に携わる看護師のための支援研修」では、附属病院看護師を対象にし、質の高い臨地実習指導を行う看護師養成のための教育プログラムを展開した。【医大】 		

項目	地域医療従事者の資質向上等	指標の達成基準	地域の医療従事者の資質向上等を支援する取組で新規・拡充したものの有無
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・府立看護学校と実習開始前後に合同連絡会議を開催した。【医大】 ・府立看護学校の教員と実習指導者で事例検討等を実施した。【医大】 ・大学院特別講義や地域の医師会と連携した症例検討会や研修医勉強会を行い、地域の医療従事者の資質向上を支援した。【医大】 		

III

III

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 4 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標
 (3) 安定的な病院経営と運営体制の改善

中期目標	病院長のガバナンスの強化により、経営の効率化をさらに推進し、収支の改善を図るとともに、医療従事者の職場環境の改善や経営基盤の強化により、安定的な病院経営を図る。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																						
②5 複雑困難化する病院経営に対応するため、病院長による病院ガバナンスの強化を図る。また、適正な在院日数と病床稼働、最適な入札システムによる医薬品・医療材料等の経費削減、適切な診療報酬の確保・収支改善、計画的かつ効果的な医療機器の導入及び一元的管理による医療機器の効率的な管理や整備など、附属病院及び附属北部医療センターの経営改善を推進する。	<<中期計画の実施状況>> <<令和2～5年度の実績>> <ul style="list-style-type: none"> ・附属病院経営戦略プランに基づく取組を進め、患者確保や病床利用率向上を図るとともに医薬材料検討委員会の仕組みの見直しによる迅速審査部会を設置、委託契約等の見直しや計画的な機器整備等の検討を行うなど経営改善、収支改善に取り組んでいる。【医大】 ・診療報酬ワーキングを開催し、届出可能な施設基準について検討・届出を実施した。【医大】 ・医療系コンサルタントの助言を踏まえながら、経営戦略会議を開催し、診療動態の分析・共有や取組の進捗状況の報告等を定期的に行うなど経営改善に取り組んだ。【医大】 ・経営改革推進室を設置し、経営改革企画会議の運営を通じて、経営改革の実効性を高める体制づくりを行った。(R6年1月)【医大】 【評価指標の達成状況】 1) 定量的な評価指標 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況(見込み)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能評価係数</td> <td>(医大)附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る 北部医療センター 府内DPC 標準病院群平均を上回る</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>II</td> <td>II</td> <td>III</td> <td>III</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況(見込み)						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	機能評価係数	(医大)附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る 北部医療センター 府内DPC 標準病院群平均を上回る	III	III	II	II	III	III	III	III	府立医科大学附属病院では、経営改革推進室を設置し、経営改革企画会議を実施し、収支改善に取り組む等、経営改革に取り組まれている。
項目	指標の達成基準			指標の達成状況(見込み)																						
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																			
機能評価係数	(医大)附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る 北部医療センター 府内DPC 標準病院群平均を上回る	III	III	II	II	III	III																			
②6 令和6年度の「働き方改革関連法」施行に伴う労働時間規制の医師への適用を受けて、大学病院としての本来業務を点検し、チーム医療の推進など診療体制の見直し、タスクシフト、労働時間規制や業務改善などの対策により医師・看護師等の働きやすい環境を整備して、府民への安定的な医療提供体制を確保する。	<<中期計画の実施状況>> <<令和2～5年度の実績>> <ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師等が働きやすい環境を整備するためタスクシフトを含めた働き方改革ワーキングを開催した。【医大】 ・「附属病院医師労働時間短縮計画」を策定し、法人全体で活用していた出退勤管理システムの改修、医師の負担軽減のためのタスクシフト、勤務体制の構築、面接指導医師の確保の増員等を進めた。更に、看護補助を導入するなど、看護職員の負担軽減等のための人員確保・離職防止、教育体制、健康管理等の諸課題の改善を進めた。【医大】 ・医師の働き方改革に係る「労働時間管理のためのガイドライン」を作成した。【医大】 																									

	【評価指標の達成状況】	III	III																					
	1) 定量的な評価指標																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能評価係数</td> <td>(医大) 附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る 北部医療センター 府内DPC 標準病院群平均を上回る</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>II</td> <td>II</td> <td>III</td> <td>III</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	機能評価係数	(医大) 附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る 北部医療センター 府内DPC 標準病院群平均を上回る	III	III	II	II	III	III	
項目	指標の達成基準			指標の達成状況（見込み）																				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																	
機能評価係数	(医大) 附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る 北部医療センター 府内DPC 標準病院群平均を上回る	III	III	II	II	III	III																	

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 4 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標
 (4) 安心・安全で患者視点に立った医療サービスの向上

中期目標	安心で安全な医療を提供するため、患者の視点やニーズに応じた医療サービスの向上や療養環境の整備、医療安全体制の充実を推進する。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																						
⑰ 患者サービスの向上と収益確保の両立を実現する看護単位の見直しなど病棟再編整備を進めるとともに、患者ニーズに応じた患者・医療サービスの向上や、土日、祝日における入退院や治療の一部実施など病院機能の運用を行う。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 附属病院経営戦略プランに基づく取組を進め、患者確保や病床利用率向上を図るとともに医薬材料検討委員会の仕組みの見直しによる迅速審査部会を設置、委託契約等の見直しや計画的な機器整備等の検討を行うなど経営改善、収支改善に取り組んでいる。【医大】 ご意見箱の運営、直接のお申し出での対応を実施した。【医大】 ご意見箱の運営、患者サポート会議を開催した。【医大】 多職種と連携し、入退院支援センターの運用を開始した。(R5.4月) 【医大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度</td> <td>(医大) 附属病院、北部医療センター 満足度調査「満足」「やや満足」「普通」回答割合が入院、外来とも95%以上</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> <td>III</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	患者満足度	(医大) 附属病院、北部医療センター 満足度調査「満足」「やや満足」「普通」回答割合が入院、外来とも95%以上	III	III	III	III	III	III	III	III	府立医科大学附属病院では、経営改革推進室を設置し、経営改革企画会議を実施し、収支改善に取り組む等、経営改革に取り組まれている。
項目	指標の達成基準			指標の達成状況（見込み）																						
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																			
患者満足度	(医大) 附属病院、北部医療センター 満足度調査「満足」「やや満足」「普通」回答割合が入院、外来とも95%以上	III	III	III	III	III	III																			

項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）																													
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																								
機能評価係数	(医大) 附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る 北部医療センター 府内DPC 標準病院群平均を上回る	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ																								
⑳ 感染防止対策や医療安全対策を推進するため、診療機器管理体制の徹底、医療従事者のリスクマネジメント意識の向上、啓発・研修の充実を進めるとともに、医療安全管理体制の充実や、病院監査委員会意見の確実な反映を行う。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全研修計画に基づき、苦情・クレーム研修会の実施に向けて準備した。【医大】 ・教職員に対して、感染防止対策及び医療安全対策の推進・充実のため、それぞれ2回以上の研修受講を義務化した。【医大】 ・委託職員に対して、新型コロナ対応清掃方法についての指導を行った。【医大】 <p>【評価指標の達成状況】 1) 定量的な評価指標</p>	Ⅲ	Ⅲ	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度</td> <td>(医大) 附属病院、北部医療センター 満足度調査「満足」「やや満足」「普通」回答割合が入院、外来とも95%以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table>						項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	患者満足度	(医大) 附属病院、北部医療センター 満足度調査「満足」「やや満足」「普通」回答割合が入院、外来とも95%以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
	項目			指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）																										
R2年度		R3年度	R4年度		R5年度	(R6年度)	(R7年度)																								
患者満足度	(医大) 附属病院、北部医療センター 満足度調査「満足」「やや満足」「普通」回答割合が入院、外来とも95%以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ																								

II 教育・研究・地域貢献・医療の質の向上に関する重要事項
 4 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標
 (5) 国際医療の推進に向けた対応

中期目標	訪日外国人旅行者や在留外国人の増加を背景として、外国人患者の増加に対応する診療体制の整備や、医師・看護師等の医療従事者の海外派遣や海外からの受入促進を図る。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等								
⑳ 若手医師・看護師等の海外派遣や外国人医療従事者の受入・研修制度の充実を図るとともに、医療現場における多言語表示・対応などの外国人患者受入の環境の整備及び海外の医科大学等との連携により、将来の国際診療体制の整備を進める。	≪中期計画の実施状況≫ <令和2～5年度の実績> <ul style="list-style-type: none"> ・病院内の案内表示板に4か国語表示を行った。【医大】 ・各診療科の間診票や検査の説明文も英語表記のものを準備した。【医大】 ・受診相談や診察室内での会話については、タブレット翻訳を導入した。(R2.2) 【医大】 ・初診時等の手続きのフォローは英語通訳者1名で対応した。【医大】 ・医療従事者海外研修等支援事業の制度化を検討した。【医大】 【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 40%;">国際診療体制の整備</th> <th style="width: 10%;">指標の達成基準</th> <th style="width: 40%;">国際診療体制の整備に係る取組で新規・拡充したものの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・病院内の案内表示板に4か国語表示を行った。【医大】 ・各診療科の間診票や検査の説明文も英語表記のものを準備した。【医大】 ・受診相談や診察室内での会話については、タブレット翻訳を導入した。(R2) 【医大】 ・初診時等の手続きのフォローは英語通訳者1名で対応した。【医大】 ・医療従事者海外研修等支援事業の制度化を検討した。【医大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	国際診療体制の整備	指標の達成基準	国際診療体制の整備に係る取組で新規・拡充したものの有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内の案内表示板に4か国語表示を行った。【医大】 ・各診療科の間診票や検査の説明文も英語表記のものを準備した。【医大】 ・受診相談や診察室内での会話については、タブレット翻訳を導入した。(R2) 【医大】 ・初診時等の手続きのフォローは英語通訳者1名で対応した。【医大】 ・医療従事者海外研修等支援事業の制度化を検討した。【医大】 			III	III	
項目	国際診療体制の整備	指標の達成基準	国際診療体制の整備に係る取組で新規・拡充したものの有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内の案内表示板に4か国語表示を行った。【医大】 ・各診療科の間診票や検査の説明文も英語表記のものを準備した。【医大】 ・受診相談や診察室内での会話については、タブレット翻訳を導入した。(R2) 【医大】 ・初診時等の手続きのフォローは英語通訳者1名で対応した。【医大】 ・医療従事者海外研修等支援事業の制度化を検討した。【医大】 											

Ⅲ 業務運営の改善等に関する事項
1 業務運営に関する目標を達成するための措置

中期目標	理事長と学長のリーダーシップによるマネジメント体制の強化により、戦略的かつ中長期的な法人・大学の運営に取り組むとともに、両大学の情報発信の強化やブランド力の向上、社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応した教育研究体制の構築を図る。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																
③〇 理事長のリーダーシップにより理事会・経営審議会の活性化を図るとともに、業務・責任体制の明確化、日常的モニタリング、リスク管理、契約事務の適性化、内部通報制度の充実、情報公開など法人の業務方法書に基づいた対応により内部統制を推進するなど、法人運営の透明性の確保と法人全体のマネジメントを強化する。 また、京都府と法人・両大学により大学総合運営会議を設けて、定期的な協議・意見交換を行うなど連携強化を図る。	<p>《中期計画の実施状況》 ＜令和2～5年度の実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善などの重要課題について法人のトップが議論する会議を計画的に開催した。【共通】 ・府と法人のトップによる大学総合運営会議を開催（R3）したほか、府と法人のトップによる協議・意見交換を定期的実施した。【共通】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">項目</td> <td style="width: 35%;">法人運営の透明性の確保と法人全体のマネジメントを強化</td> <td style="width: 10%;">指標の達成基準</td> <td style="width: 40%;">法人運営の透明性の確保と法人全体のマネジメントを強化する取組で新規・拡充したもの</td> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3">・経営改善などの重要課題について法人のトップが議論する会議を計画的に開催した。【共通】</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>京都府との連携強化を図る</td> <td>指標の達成基準</td> <td>府との定期的な協議・意見交換の実施</td> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3">・府と法人のトップによる大学総合運営会議を開催（R3）したほか、府と法人のトップによる協議・意見交換を定期的実施した。【共通】</td> </tr> </table>	項目	法人運営の透明性の確保と法人全体のマネジメントを強化	指標の達成基準	法人運営の透明性の確保と法人全体のマネジメントを強化する取組で新規・拡充したもの	指標の達成状況	・経営改善などの重要課題について法人のトップが議論する会議を計画的に開催した。【共通】			項目	京都府との連携強化を図る	指標の達成基準	府との定期的な協議・意見交換の実施	指標の達成状況	・府と法人のトップによる大学総合運営会議を開催（R3）したほか、府と法人のトップによる協議・意見交換を定期的実施した。【共通】			Ⅲ	Ⅲ	
項目	法人運営の透明性の確保と法人全体のマネジメントを強化	指標の達成基準	法人運営の透明性の確保と法人全体のマネジメントを強化する取組で新規・拡充したもの																	
指標の達成状況	・経営改善などの重要課題について法人のトップが議論する会議を計画的に開催した。【共通】																			
項目	京都府との連携強化を図る	指標の達成基準	府との定期的な協議・意見交換の実施																	
指標の達成状況	・府と法人のトップによる大学総合運営会議を開催（R3）したほか、府と法人のトップによる協議・意見交換を定期的実施した。【共通】																			

<p>③① 大学を取り巻く環境変化に対応する、教職員が一体となった大学改革を推進するため、学生の意見も取り入れ、新任教員・職員研修や教育マネジメントリーダー育成研修などFD・SDの共同実施や教職員の共同プロジェクトチームの導入を更に進めるなど、教職員の教育（支援）能力や大学運営における企画・管理能力を向上させるとともに、教職協働を軸とした学長による大学ガバナンスの強化を図る。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師以上の教員と事務部門管理職とが参加する夏季課題集中検討会を開催した。【医大】 ・大学改革に向けた学長のガバナンスの強化を図るため、学長特別補佐8人（外部4人、教職員4人）を任命した。【府大】 ・教育内容の点検・改善を行うため、学生・教員の意見交換の場をして「学生ワークショップ」を開催した。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 351 1668 534"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FD・SD研修参加率</td> <td>（両大学）FD・SD研修参加率 75%以上 ※年に1回以上FD研修に参加した教員・職員数／全教員・職員数</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 566 1668 758"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学長による大学ガバナンスの強化</th> <th>指標の達成基準</th> <th>学長による業績評価（年1回）の実施の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3">・全教員を対象として年に2回（上半期・下半期）、活動状況に関する報告書及び所属長による評価書等を参考に、学長が業績評価を行っている、その結果を勤勉手当や昇級に反映させている。【共通】</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	FD・SD研修参加率	（両大学）FD・SD研修参加率 75%以上 ※年に1回以上FD研修に参加した教員・職員数／全教員・職員数	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	項目	学長による大学ガバナンスの強化	指標の達成基準	学長による業績評価（年1回）の実施の有無	指標の達成状況	・全教員を対象として年に2回（上半期・下半期）、活動状況に関する報告書及び所属長による評価書等を参考に、学長が業績評価を行っている、その結果を勤勉手当や昇級に反映させている。【共通】			Ⅲ	Ⅲ	
項目	指標の達成基準			指標の達成状況（見込み）																														
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																											
FD・SD研修参加率	（両大学）FD・SD研修参加率 75%以上 ※年に1回以上FD研修に参加した教員・職員数／全教員・職員数	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ																											
項目	学長による大学ガバナンスの強化	指標の達成基準	学長による業績評価（年1回）の実施の有無																															
指標の達成状況	・全教員を対象として年に2回（上半期・下半期）、活動状況に関する報告書及び所属長による評価書等を参考に、学長が業績評価を行っている、その結果を勤勉手当や昇級に反映させている。【共通】																																	
<p>③② 教職員全員の広報意識の向上を図り、両大学の特色や存在感を高めるための情報の発信と戦略的広報を実施するとともに、大学ランキングへの反映も意識した両大学のブランド力の強化を図る。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページデザイン等の陳腐化対応のため、改修を行った。【医大】 ・150周年記念事業を、HPの特設ページ、ポスター、広報誌、公共交通機関の吊り広告等により学内外への広報を行った。【医大】 ・大学ホームページを刷新し、令和6年度の学部・学科再編に向けたメインビジュアルの作成などホームページを中心に各種媒体に展開を行い多角的な情報発信に努めた。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="694 1069 1668 1236"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">指標の達成基準</th> <th colspan="6">指標の達成状況（見込み）</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>(R6年度)</th> <th>(R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新聞・雑誌掲載数</td> <td>（両大学）（積極的記事）各年度 100 件以上</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> <td>Ⅲ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	指標の達成基準	指標の達成状況（見込み）						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)	新聞・雑誌掲載数	（両大学）（積極的記事）各年度 100 件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ									
項目	指標の達成基準			指標の達成状況（見込み）																														
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	(R6年度)	(R7年度)																											
新聞・雑誌掲載数	（両大学）（積極的記事）各年度 100 件以上	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ																											
<p>③③ 情報管理体制の充実、教職員への啓発・研修や必要な規程整備等を行うとともに、インシデントが発生した時に迅速かつ的確に対応できる体制を構築するなど、情報セキュリティ対策を強化する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関するオンライン研修を毎年実施した。【共通】 ・セキュリティ対策機器等のファームウェア更新を適時実施した。【医大】 ・内閣サイバーセキュリティセンターが実施する分野横断的演習に参加した。（R5）【医大】 ・学内で使用しているMicrosoft Teamsに全教職員が参加するチームを作成することにより、報告があれば速やかに情報担当が把握し、対処できるようにした。【府大】 																																	

	<p>【評価指標の達成状況】</p> <p>1) 定量的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 159 1673 343"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>情報セキュリティ対策の強化</th> <th>指標の達成基準</th> <th>情報セキュリティ対策の強化に係る取組で新規・拡充したものの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関するオンライン研修を毎年実施した。【共通】 ・セキュリティ対策機器等のファームウェア更新を適時実施した。【医大】 ・内閣サイバーセキュリティセンターが実施する分野横断的演習に参加した。(R5)【医大】 ・学内で使用しているMicrosoft Teamsに全教職員が参加するチームを作成することにより、報告があれば速やかに情報担当が把握し、対処できるようにした。【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	情報セキュリティ対策の強化	指標の達成基準	情報セキュリティ対策の強化に係る取組で新規・拡充したものの有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関するオンライン研修を毎年実施した。【共通】 ・セキュリティ対策機器等のファームウェア更新を適時実施した。【医大】 ・内閣サイバーセキュリティセンターが実施する分野横断的演習に参加した。(R5)【医大】 ・学内で使用しているMicrosoft Teamsに全教職員が参加するチームを作成することにより、報告があれば速やかに情報担当が把握し、対処できるようにした。【府大】 			III	III	
項目	情報セキュリティ対策の強化	指標の達成基準	情報セキュリティ対策の強化に係る取組で新規・拡充したものの有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに関するオンライン研修を毎年実施した。【共通】 ・セキュリティ対策機器等のファームウェア更新を適時実施した。【医大】 ・内閣サイバーセキュリティセンターが実施する分野横断的演習に参加した。(R5)【医大】 ・学内で使用しているMicrosoft Teamsに全教職員が参加するチームを作成することにより、報告があれば速やかに情報担当が把握し、対処できるようにした。【府大】 											
<p>③④ 医科大学においては、病院機能の再編整備と併せ、教育・研究機能の集約、再編を検討する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医科大学機能整備計画（基本計画）を策定し、整備に当って生じる課題毎に検討チームを立ち上げ、検討協議を実施。その結果を踏まえ、基本計画の整備コンセプトに基づき、整備工程を分割し、段階的に整備できるよう実施計画を策定した。【医大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 657 1673 841"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>教育・研究機能の集約、再編を検討</th> <th>指標の達成基準</th> <th>教育・研究機能の集約・再編の取組の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・医科大学機能整備計画（基本計画）を策定し、整備に当って生じる課題毎に検討チームを立ち上げ、検討協議を実施。その結果を踏まえ、基本計画の整備コンセプトに基づき、整備工程を分割し、段階的に整備できるよう実施計画を策定した。【医大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	教育・研究機能の集約、再編を検討	指標の達成基準	教育・研究機能の集約・再編の取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医科大学機能整備計画（基本計画）を策定し、整備に当って生じる課題毎に検討チームを立ち上げ、検討協議を実施。その結果を踏まえ、基本計画の整備コンセプトに基づき、整備工程を分割し、段階的に整備できるよう実施計画を策定した。【医大】 			III	III	<p>府立医科大学では、病院機能の再編整備に向けて、附属病院の実施計画や北部医療センターの基本構想を策定されるなど、段階的な整備の検討を進められている。</p>
項目	教育・研究機能の集約、再編を検討	指標の達成基準	教育・研究機能の集約・再編の取組の有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・医科大学機能整備計画（基本計画）を策定し、整備に当って生じる課題毎に検討チームを立ち上げ、検討協議を実施。その結果を踏まえ、基本計画の整備コンセプトに基づき、整備工程を分割し、段階的に整備できるよう実施計画を策定した。【医大】 											
<p>③⑤ 府立大学においては、Society 5.0（超スマート社会）など社会の変化に対応するとともに、地域課題の解決や文化による新しい価値創造など、地域社会や国際社会の持続的な発展の実現に貢献できる未来に向けた大学の再編、社会の要請に対応した教育研究体制の構築を図る。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「AIデータサイエンス教育研究センター」を設立した。(R3)【府大】 ・新たな学部学科再編の方向性について学内で検討を進め、府及び法人とも協議しながら「『新生・京都府立大学』改革プラン」として取りまとめた。(R3)【府大】 ・「新生・京都府立大学」改革プランに基づく学部学科再編について、文部科学省に学部設置届を提出した。(令和6年度から再編)【府大】 <p>【評価指標の達成状況】</p> <p>2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 1155 1673 1339"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大学の再編等による教育研究体制の構築</th> <th>指標の達成基準</th> <th>大学の再編等に係る取組の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな学部学科再編の方向性について学内で検討を進め、府及び法人とも協議しながら「『新生・京都府立大学』改革プラン」として取りまとめた。【府大】 ・「新生・京都府立大学」改革プランに基づく学部学科再編について、文部科学省に学部設置届を提出した。(令和6年度から再編)【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	大学の再編等による教育研究体制の構築	指標の達成基準	大学の再編等に係る取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな学部学科再編の方向性について学内で検討を進め、府及び法人とも協議しながら「『新生・京都府立大学』改革プラン」として取りまとめた。【府大】 ・「新生・京都府立大学」改革プランに基づく学部学科再編について、文部科学省に学部設置届を提出した。(令和6年度から再編)【府大】 			III	III	<p>府立大学では、令和6年度から学部学科再編により新しい学部体制にするなど、研究力の向上などに向けた取組を推進されている。</p>
項目	大学の再編等による教育研究体制の構築	指標の達成基準	大学の再編等に係る取組の有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな学部学科再編の方向性について学内で検討を進め、府及び法人とも協議しながら「『新生・京都府立大学』改革プラン」として取りまとめた。【府大】 ・「新生・京都府立大学」改革プランに基づく学部学科再編について、文部科学省に学部設置届を提出した。(令和6年度から再編)【府大】 											

Ⅲ 業務運営の改善等に関する事項
2 人事管理に関する目標を達成するための措置

中期目標
法人のメリットを活かし、雇用形態、勤務形態、給与形態等において、柔軟性に富んだ人事制度を運用し、多様で優秀な人材の確保・育成や効果的な人員配置を行うとともに、職員が出産、育児、介護などライフステージに応じた生活を安心して送れるよう、長時間労働の是正、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等の働き方改革を進め、働く意欲が高まる職場環境を実現する。

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等								
<p>③⑥ 情報リテラシーや国際的なコミュニケーション力の向上を図るなど、Society 5.0（超スマート社会）やグローバル化に対応できるよう職員の能力育成を図るとともに、有期雇用職員の処遇改善を始め雇用形態に関わらない公正な待遇の確保を進め、その能力の活用と能力開発を行う。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 《令和2～5年度の実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用・転入者研修、新任係長・看護師長研修を実施した。【医大】 ・育児休業・育児参加のために休暇を柔軟に取れるよう制度を改正した。【共通】 ・SD・FD研修の他、学内各種委員会主催の研修を毎年度複数回実施している。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 751 1671 963"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 751 797 831">項目</th> <th data-bbox="797 751 1149 831">能力の活用と能力開発</th> <th data-bbox="1149 751 1249 831">指標の達成基準</th> <th data-bbox="1249 751 1671 831">グローバル化に対応できるよう職員の能力開発の実施及び公正な待遇を確保することによる能力活用の実施の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="696 831 797 963">指標の達成状況</td> <td colspan="3" data-bbox="797 831 1671 963"> <ul style="list-style-type: none"> ・採用・転入者研修、新任係長・看護師長研修を実施した。【医大】 ・SD・FD研修の他、学内各種委員会主催の研修を毎年度複数回実施している。【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	能力の活用と能力開発	指標の達成基準	グローバル化に対応できるよう職員の能力開発の実施及び公正な待遇を確保することによる能力活用の実施の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・採用・転入者研修、新任係長・看護師長研修を実施した。【医大】 ・SD・FD研修の他、学内各種委員会主催の研修を毎年度複数回実施している。【府大】 			Ⅲ	Ⅲ	
項目	能力の活用と能力開発	指標の達成基準	グローバル化に対応できるよう職員の能力開発の実施及び公正な待遇を確保することによる能力活用の実施の有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・採用・転入者研修、新任係長・看護師長研修を実施した。【医大】 ・SD・FD研修の他、学内各種委員会主催の研修を毎年度複数回実施している。【府大】 											
<p>③⑦ 女性教職員の積極的な採用・就業支援・管理職への登用などジェンダー平等の実現や外国人教員・研究者の採用などのダイバーシティの推進を図るとともに、プロパー事務職員や実務経験を有する教員の採用拡大、任期付教員制度や複数の大学・企業等と雇用契約を結ぶクロスアポイントメント制度の充実など業務の必要性に応じた多様な人材の採用や配置を行う。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 《令和2～5年度の実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに法人事務職員の採用試験を実施した。(R5) 【共通】 ・医療事務を中心に28名のプロパー職員を配置した。【医大】 ・7件のクロスアポイントメント制度を適用した。(R2～5) 【医大】 ・教員の公募要件に男女共同参画の取り組み推進について記載するなど、女性の登用・登用促進の取り組みを実施している。【府大】 											

	<p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 132 1673 344"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>業務の必要性に応じた多様な人材の採用や配置</th> <th>指標の達成基準</th> <th>多様な人材の採用や配置に係る取組の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに法人事務職員の採用試験を実施した。(R5)【共通】 ・医療事務を中心に28名のプロパー職員を配置した。【医大】 ・7件のクロスアポイントメント制度を適用した。(R2~5)【医大】 ・教員の公募要件に男女共同参画の取り組み推進について記載するなど、女性の登用・登用促進の取り組みを実施している。【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	業務の必要性に応じた多様な人材の採用や配置	指標の達成基準	多様な人材の採用や配置に係る取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに法人事務職員の採用試験を実施した。(R5)【共通】 ・医療事務を中心に28名のプロパー職員を配置した。【医大】 ・7件のクロスアポイントメント制度を適用した。(R2~5)【医大】 ・教員の公募要件に男女共同参画の取り組み推進について記載するなど、女性の登用・登用促進の取り組みを実施している。【府大】 			III	III	
項目	業務の必要性に応じた多様な人材の採用や配置	指標の達成基準	多様な人材の採用や配置に係る取組の有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに法人事務職員の採用試験を実施した。(R5)【共通】 ・医療事務を中心に28名のプロパー職員を配置した。【医大】 ・7件のクロスアポイントメント制度を適用した。(R2~5)【医大】 ・教員の公募要件に男女共同参画の取り組み推進について記載するなど、女性の登用・登用促進の取り組みを実施している。【府大】 											
<p>⑳ 出退勤管理・時間外労働の是正・労働時間管理の適正化、職場ハラスメントの防止、健康でない状態を見逃さないメンタルヘルス対応など安全衛生管理体制の充実、AI導入による効率化、会議のあり方や運営方法の改善、さらに組織風土改革や意識改革の推進など、より多くの人に選ばれる職場環境づくりを進めるとともに、教職員が出産・育児・介護などライフイベントに応じた生活を安心して送ることができるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）など、仕事環境・人材育成・業務改善の視点からの働き方改革を推進する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 《令和2～5年度の実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出退勤システムを導入し、出退勤時間を把握している。【共通】 ・新規採用職員・転入者研修の中でハラスメントの防止等について説明するとともに、ハラスメント防止パンフレットを大学ホームページに掲載した。【医大】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・フューチャーステップ研究員や研究支援補助事業を運営した。【医大】 ・託児補助事業や夏季・冬季の学内保育等を実施した。【医大】 ・ハラスメント防止についてのリーフレットの配架やホームページ上での相談員の公表により周知・徹底を図った。【府大】 ・ハラスメント関係規程を全面改正し、外部相談窓口を設置するなど相談体制を充実させた。【府大】 ・出退勤システムの打刻・入力漏れが無くなるよう、部局長会議やTeamsにより周知徹底を図った。【府大】 ・時間外勤務事前命令の徹底や業務平準化、WEB会議の推進等の取組により、職員の時間外勤務時間は減少傾向にある。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" data-bbox="696 933 1673 1310"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>仕事環境・人材育成・業務改善の視点からの働き方改革を推進</th> <th>指標の達成基準</th> <th>出退勤管理・労働時間管理等の働き方改革を推進する取組の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・出退勤システムを導入し、出退勤時間を把握している。【共通】 ・新規採用職員・転入者研修の中でハラスメントの防止等について説明するとともに、ハラスメント防止パンフレットを大学ホームページに掲載した。【医大】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・託児補助事業や夏季・冬季の学内保育等を実施した。【医大】 ・ハラスメント防止についてのリーフレットの配架やホームページ上での相談員の公表により周知・徹底を図った。【府大】 ・出退勤システムの打刻・入力漏れが無くなるよう、部局長会議やTeamsにより周知徹底を図った。【府大】 ・時間外勤務事前命令の徹底や業務平準化、WEB会議の推進等の取り組みにより、職員の時間外勤務時間は減少傾向にある。【府大】 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	仕事環境・人材育成・業務改善の視点からの働き方改革を推進	指標の達成基準	出退勤管理・労働時間管理等の働き方改革を推進する取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・出退勤システムを導入し、出退勤時間を把握している。【共通】 ・新規採用職員・転入者研修の中でハラスメントの防止等について説明するとともに、ハラスメント防止パンフレットを大学ホームページに掲載した。【医大】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・託児補助事業や夏季・冬季の学内保育等を実施した。【医大】 ・ハラスメント防止についてのリーフレットの配架やホームページ上での相談員の公表により周知・徹底を図った。【府大】 ・出退勤システムの打刻・入力漏れが無くなるよう、部局長会議やTeamsにより周知徹底を図った。【府大】 ・時間外勤務事前命令の徹底や業務平準化、WEB会議の推進等の取り組みにより、職員の時間外勤務時間は減少傾向にある。【府大】 			III	III	
項目	仕事環境・人材育成・業務改善の視点からの働き方改革を推進	指標の達成基準	出退勤管理・労働時間管理等の働き方改革を推進する取組の有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・出退勤システムを導入し、出退勤時間を把握している。【共通】 ・新規採用職員・転入者研修の中でハラスメントの防止等について説明するとともに、ハラスメント防止パンフレットを大学ホームページに掲載した。【医大】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・託児補助事業や夏季・冬季の学内保育等を実施した。【医大】 ・ハラスメント防止についてのリーフレットの配架やホームページ上での相談員の公表により周知・徹底を図った。【府大】 ・出退勤システムの打刻・入力漏れが無くなるよう、部局長会議やTeamsにより周知徹底を図った。【府大】 ・時間外勤務事前命令の徹底や業務平準化、WEB会議の推進等の取り組みにより、職員の時間外勤務時間は減少傾向にある。【府大】 											

Ⅲ 業務運営の改善等に関する事項
3 効率的経営の推進に関する目標を達成するための措置

中期目標	1 法人 2 大学の特性を最大限に活かし、共通する事務部門の共同化、情報通信技術の活用等による効率的な事務処理を推進し、効果的な法人運営を図るとともに、業務内容の見直し等を行い、業務の効率化・簡素化を進める。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等																
⑳ 1 法人 2 大学のメリットを活かし、国際センターやリエゾンオフィスなどにおける海外の大学や企業情報の収集、知的財産管理業務及び広報業務など幅広い事務全般について、両大学の強みや独自性を活かしながら連携強化や共同化を推進する。また、大学事務局・病院事務部の業務内容や業務量の変動に伴い、事務局組織の見直しや適正な職員配置に努めるとともに、企業、国や自治体、他大学等において実務経験を有する外部人材職員を適材適所において登用を進める。また、大学外で行った方が効果的・効率的・経済的に行えるような業務については、外部への業務委託を一層進める。	<p>《中期計画の実施状況》 ＜令和2～5年度の実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産・産学連携に関する事務について、両大学共通の事務の確認を行い、決裁ルート見直し等効率化を図った。【共通】 ・両大学事務局間で、学生の海外派遣と受入事務について、実務者レベルの情報交換を実施したほか、共同で留学生交流会を実施した。(R5)【共通】 ・年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】 ・病院事務部・学生部学生課などを大学事務局に移管し、一体的に事務局長のガバナンスの下でマネジメントを行った。【医大】 ・他大学や自治体で実務経験を有する者をプロパー職員として採用した。【医大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">項目</td> <td style="width: 30%;">両大学の連携強化及び共同化の推進</td> <td style="width: 10%;">指標の達成基準</td> <td style="width: 50%;">両大学の連携強化及び共同化に係る取組の有無</td> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産・産学連携に関する事務について、両大学共通の事務の確認を行い、決裁ルート見直し等効率化を図った。【共通】 ・両大学事務局間で、学生の海外派遣と受入事務について、実務者レベルの情報交換を実施したほか、共同で留学生交流会を実施した。(R5)【共通】 </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">項目</td> <td style="width: 30%;">外部人材職員の登用の推進</td> <td style="width: 10%;">指標の達成基準</td> <td style="width: 50%;">外部人材職員登用の新規・拡充の有無</td> </tr> <tr> <td>指標の達成状況</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ・他大学や自治体で実務経験を有する者をプロパー職員として採用した。【医大】 </td> </tr> </table>	項目	両大学の連携強化及び共同化の推進	指標の達成基準	両大学の連携強化及び共同化に係る取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産・産学連携に関する事務について、両大学共通の事務の確認を行い、決裁ルート見直し等効率化を図った。【共通】 ・両大学事務局間で、学生の海外派遣と受入事務について、実務者レベルの情報交換を実施したほか、共同で留学生交流会を実施した。(R5)【共通】 			項目	外部人材職員の登用の推進	指標の達成基準	外部人材職員登用の新規・拡充の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・他大学や自治体で実務経験を有する者をプロパー職員として採用した。【医大】 			Ⅲ	Ⅲ	
項目	両大学の連携強化及び共同化の推進	指標の達成基準	両大学の連携強化及び共同化に係る取組の有無																	
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産・産学連携に関する事務について、両大学共通の事務の確認を行い、決裁ルート見直し等効率化を図った。【共通】 ・両大学事務局間で、学生の海外派遣と受入事務について、実務者レベルの情報交換を実施したほか、共同で留学生交流会を実施した。(R5)【共通】 																			
項目	外部人材職員の登用の推進	指標の達成基準	外部人材職員登用の新規・拡充の有無																	
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・他大学や自治体で実務経験を有する者をプロパー職員として採用した。【医大】 																			

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="696 81 797 129">項目</td> <td data-bbox="797 81 1149 129">外部への業務委託の推進</td> <td data-bbox="1149 81 1249 129">指標の達成基準</td> <td data-bbox="1249 81 1675 129">外部への業務委託の新規・拡充の有無</td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 129 797 263">指標の達成状況</td> <td colspan="3" data-bbox="797 129 1675 263">・年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】</td> </tr> </table>	項目	外部への業務委託の推進	指標の達成基準	外部への業務委託の新規・拡充の有無	指標の達成状況	・年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】					
項目	外部への業務委託の推進	指標の達成基準	外部への業務委託の新規・拡充の有無									
指標の達成状況	・年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】											
<p>④⑩ 汎用性が高く標準化されたシステムやRPA等の導入などICT活用により、学生支援業務、教育研究支援業務や総務・人事・会計等の事務や診療業務の迅速化・省力化を推進する。</p>	<p>≪中期計画の実施状況≫ <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出勤システムを導入し、出勤時間を把握している。【共通】 ・年末調整に係る事務についての外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・総合医療情報システムのリプレイスに向けて詳細設計を実施した。(R5)【医大】 ・Web出願を導入した。【府大】 <p>【評価指標の達成状況】 2) 定性的な評価指標</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="696 571 797 619">項目</td> <td data-bbox="797 571 1149 619">事務や診療業務の迅速化・省力化の推進</td> <td data-bbox="1149 571 1249 619">指標の達成基準</td> <td data-bbox="1249 571 1675 619">事務や診療業務の迅速化・省力化に係る取組の有無</td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 619 797 869">指標の達成状況</td> <td colspan="3" data-bbox="797 619 1675 869"> <ul style="list-style-type: none"> ・出勤システムを導入し、出勤時間を把握している。【共通】 ・年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・総合医療情報システムのリプレイスに向けて詳細設計を実施した。(R5)【医大】 ・Web出願を導入した。【府大】 </td> </tr> </table>	項目	事務や診療業務の迅速化・省力化の推進	指標の達成基準	事務や診療業務の迅速化・省力化に係る取組の有無	指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤システムを導入し、出勤時間を把握している。【共通】 ・年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・総合医療情報システムのリプレイスに向けて詳細設計を実施した。(R5)【医大】 ・Web出願を導入した。【府大】 			III	III	
項目	事務や診療業務の迅速化・省力化の推進	指標の達成基準	事務や診療業務の迅速化・省力化に係る取組の有無									
指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤システムを導入し、出勤時間を把握している。【共通】 ・年末調整に係る事務について外部委託化、オンライン化を実施した。(R5)【共通】 ・事務・技術部門については休暇の電子申請を開始しており、事務部門は時間外勤務の申請・承認まで拡充した。【医大】 ・総合医療情報システムのリプレイスに向けて詳細設計を実施した。(R5)【医大】 ・Web出願を導入した。【府大】 											

IV 財務内容の改善に関する事項
1 収入・経費等に関する目標を達成するための措置

中期目標	授業料・病院使用料・手数料等の適宜見直しや外部研究資金の確保等による収入確保、財務状況の分析や管理経費の見直しによる運営経費の抑制及び効果的な執行を図るとともに、法人資産の有効な活用や保全に取り組む。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等
④ 病院収益の向上対策、社会経済情勢の変化に応じた授業料や病院使用料・手数料等の見直し、外部資金の積極的獲得、ふるさと納税制度と連携した基金の充実と活用等により自主財源の確保を図るとともに、経費の抑制と効果的な執行による支出管理や法人資産の有効活用・財産保全を図る。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善コア会議を設置（R5）し、病床稼働率の向上による病院収入の確保等による収入確保や、医療材料費や光熱費等の経費削減を進める対応案を検討した。【医大】 ・業務委託内容の点検・見直しによる固定経費の抑制や予定価格精査等により適正な支出管理を行った。【医大】 ・使用料・手数料等の見直しに向け、具体的な見直し案について関係各課と検討を行い、京都府との調整を行った。【医大】 ・光熱費削減に向け、照明のLED化や電気使用量の一部モニタリングを行い、学内会議等での周知・啓発を行った。【医大】 ・委託等の契約について、業務内容を必要最小限に限るなどの仕様の見直しや業者との交渉により契約額の増額の抑制を図った。【医大】 ・創立150周年記念を契機に、保護者や企業などに向けて積極的に寄附を募集した。【医大】 ・ふるさと納税による寄附について広報活動を行った。【府大】 	III	III	

V 教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項
 1 自己点検・評価及び業務運営への反映等に関する目標を達成するための措置

中期目標	教育研究活動や業務運営等に関する自己点検・自己評価や、京都府公立大学法人評価委員会・認証評価機関等の第三者評価により、課題や改善状況を明確にするとともに、評価結果を教育研究活動及び法人運営の改善に反映させ、その内容を迅速かつ積極的に公表する。
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等
④② 教育研究や法人・大学全般に対する内部質保証及びIR室の設置によるIR機能強化を図るとともに、認証評価機関による第3サイクルの評価の受審や分野別評価の実施、法人評価委員会など第三者評価結果の積極的な活用を進め、第三者評価結果に基づいた改善の実施、年度計画の達成状況等の公表を行う。	<<中期計画の実施状況>> <令和2～5年度の実績> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画を策定及び自己評価を行い、毎年ホームページで公表した。(R2～4) 【共通】 ・大学機関別認証評価の受審を目指し準備した。【医大】 ・病院機能評価の受審し、条件付きであるが認定を受けた。(R5年8月)条件付きの対象である改善要望事項について、病院長によるヒアリングを実施し、改善報告書類をとりまとめ、確認審査に備えた。【医大】 ・大学機関別認証評価を受審し、適合の評価を受けた。【府大】 	III	III	

VI その他運営に関する重要事項
 1 教育研究・診療施設の計画的整備に関する目標を達成するための措置

中期目標	京都府と協働し、耐震化・老朽化対策などの両大学、附属病院、附属北部医療センターの中・長期的視点による整備計画の策定及び順次実施を行い、安心・安全で快適な教育・研究・診療環境を整備する。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等
④③ 将来を見据えた大学施設の整備計画の策定及び順次実施、老朽化対策・長寿化対策等を計画的に実施する。 ① 附属病院、附属北部医療センターの高度医療への対応（メディカルセンター、SCU、HCU、ICU等の整備）、患者アメニティの向上のための改修・整備及び老朽化対策を行うとともに、加えてSociety 5.0（超スマート社会）に適合した附属病院も含めた医科大学の教育・研究部門の整備を行う大学全体のキャンパス構想を策定して、計画的な整備を推進する。 ② 府立大学のキャンパス整備に関する基本計画に基づいた計画的整備を推進する。 ③ 府の北山「文化と憩い」の交流構想に沿った共同体育館の早期整備を行う。	<<中期計画の実施状況>> <令和2～5年度の実績> <ul style="list-style-type: none"> ・共同体育館は、学生利用を前提として、防災機能や府民利用機能を付加した体育館として整備していくこととしており、整備時期については、学舎整備との整合性を図りながら、現在、法人本部及び京都府で協議を行っている。【共通】 ・令和5年度は基本計画に掲げるコンセプトを踏まえつつ、整備の緊急度や医療を取り巻く環境の変化に対応することを念頭において、整備工程の具現化を図る大学施設整備に係る実施計画の策定を推進した。【医大】 ・整備に向けた外部・内部環境調査等を実施するとともに、「病院機能検討会議」を開催（R3～）し、北部医療センターが担うべき役割や機能について検討実施した。【医大】 ・院内での検討や病院機能検討会議での意見聴取を経て基本構想を策定予定（R5）【医大】 ・「京都府立大学整備構想」（R4年3月）、「京都府立大学施設整備基本計画」（R5年3月）をそれぞれ策定、今後は京都府と整備時期、財源等の協議、調整を進め、順次整備していく予定である。【府大】 	III	III	府立医科大学では、病院機能の再編整備に向けて、附属病院の実施計画や北部医療センターの基本構想を策定されるなど、段階的な整備の検討を進められている。 府立大学では、令和6年度から学部学科再編により新しい学部体制にするなど、研究力の向上などに向けた取組を推進されている。

VI その他運営に関する重要事項

2 コンプライアンスの徹底に関する目標を達成するための措置

中期目標	監査機能の強化や教職員・学生の倫理意識の向上等による法令や社会的規範の遵守を図るとともに、研究の不正防止や情報セキュリティの強化を図る。
------	--

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等
④④ 監事監査・内部監査機能の強化や、教職員や学生に対する研修等を通じた倫理意識の向上、公益通報制度の周知を図る。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事監査については、年度計画を策定し、決算を踏まえた会計監査のほか、テーマを定め業務監査を実施した。【共通】 ・内部監査については、文科省ガイドライン改正を受け、各大学内の規程を整備した（R3）。また、会計監査人と内部監査員との意見交換を定期的に行っている。【共通】 ・公益通報制度については各所属への周知など制度の浸透を図っている。【共通】 	Ⅲ	Ⅲ	今後も、引き続き適正な大学運営が行われるよう取組の充実・強化を行っていくことが必要である。
④⑤ 研修や研究計画・研究倫理・利益相反の審査、内部監査の実施などにより、研究費の不正使用などの不正事案の防止や研究の信頼性の確保を図る。	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「研究質管理センター」を設置し、臨床研究責任医師等講習会、臨床研究関係者講習会及び審査委員会委員等講習会を開催した。【医大】 ・臨床研究の責任医師・分担医師は、講習会等の受講要件を課している。【医大】 ・利益相反委員会、医学倫理審査委員会及び臨床研究審査委員会を毎月開催した。【医大】 ・研究倫理・公的研究費の使用に関するコンプライアンス研修を毎年実施している。【府大】 ・内部監査については、物品購入、委託等に係る納品検収など会計監査だけでなく、各年度テーマを設定して業務監査を行っている。【府大】 ・公益通報制度については、ホームページにおいて公開し、学生に対しては、学生コンプライアンス指針を学生便覧に掲載するなどして周知を図っている。【府大】 ・公的研究費を扱う教職員から、不正行為を行わないこと及び関係規定を順守することについて、誓約書の提出を義務付けている。【府大】 	Ⅲ	Ⅲ	

<p>④6 個人情報を適切に管理するとともに、情報流出の防止等のセキュリティ対策を強化する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正後の個人情報保護法に基づき、京都府公立大学法人における個人情報の保護に関する規程及び京都府公立大学法人個人情報保護事務処理要領を整備した。【共通】 ・個人情報やセキュリティ上のリスクの有無や対策を事前検証するため、令和4年度に「医療情報システム届出制度」を新設し、試験運用を開始した。(R4)【医大】 <p>※セキュリティ対策については③参照</p>	<p>III</p>	<p>III</p>	
--	--	------------	------------	--

VI その他運営に関する重要事項
 3 人権に関する目標を達成するための措置

<p>中期目標</p>	<p>教育研究活動におけるハラスメント等の人権侵害の防止や業務遂行における人権尊重を徹底するとともに、人権や倫理に配慮した教育の充実を図る。</p>
-------------	--

<p>第3期中期計画 【中期計画番号】</p>	<p>計画の実施状況等</p>	<p>自己評価</p>	<p>委員会評価</p>	<p>評価委員会コメント等</p>
<p>④7 教職員に対する研修等の実施により、人権意識の向上、ハラスメント等の人権侵害の防止、人権尊重の視点での法人・両大学の業務遂行の徹底を図るとともに、学生に対する人権や生命倫理に関する教育カリキュラムを充実する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員を対象とした人権研修を実施した。(講義形式及びオンデマンド配信)【共通】 ・新規採用職員・転入者を対象にハラスメントの防止等について説明した。【医大】 ・ハラスメント啓発パンフレットを大学ホームページに掲載した。【医大】 ・リーフレットの配架やホームページ上でのハラスメント相談員の公表により、ハラスメントの啓発や防止徹底を図っている。【府大】 ・人権教育として「人権論(人文・社会科学系)」、「人権論(自然・生活科学系)」、「インターネットと人権」、「現代社会とジェンダー」を開講した。【府大】 	<p>III</p>	<p>III</p>	

VI その他運営に関する重要事項
 4 安全衛生管理及び危機管理体制の確保に関する目標を達成するための措置

中期目標	学生や教職員の健康や教育研究活動での安全の確保を図るとともに、事故や事件、災害等の緊急時に適切かつ迅速に対応する体制の構築を図る。
------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等
④8 教職員や学生の健康管理、実験や実習、国際交流など海外での活動等、教職員の学内外での教育研究活動における安全管理体制を整備する。 また、地震や豪雨等自然災害発生時の対応、大学・病院内での事故・事件等不測の事態への対応や不適切事案発生時の対応等緊急時における対応マニュアルの整備を行い、事案発生時の速やかな公表、原因究明、責任体制、再発防止対策の策定など、迅速かつ適切な対応ができるよう危機管理体制を構築する。	<<中期計画の実施状況>> <令和2～5年度の実績> ・止水板の設置や土嚢の整備を行う等、浸水対策を実施した。(R4)【医大】 ・内閣サイバーセキュリティセンターが開催した「分野横断的演習」に病院長及び医療情報部員が参加した。【医大】 ・防災訓練を実施した。【府大】 ・令和6年1月発災の「令和6年能登半島地震」について京の防災防疫安全安心研究センター所属の教員による調査報告会を学内の教職員向けに行い、防災意識の向上に努めた。【府大】 ・留学中の学生に対しては、アイラックへの連絡を第一義とする体制を確立しており、かつ、アイラック社の「アイサーチ」(GPS、電話相談等)に加入し対応している。「アイサーチ」の使用方法を出国前にガイダンスしている。【府大】 ・学内で救急車を要請する場合の救急対応マニュアルを作成し、教職員に周知・情報共有した。また、学生の緊急時対応として、左京消防署に依頼し、クラブ・サークルリーダーを対象とした普通救命講習会を開催した。【府大】	III	III	

VI その他運営に関する重要事項
5 環境への配慮に関する目標を達成するための措置

中期 目標	地球温暖化対策、省エネルギー対策、適切な廃棄物処理等、環境に配慮した運営を行うとともに、環境問題に対する教職員・学生の意識啓発を行う。
----------	---

第3期中期計画 【中期計画番号】	計画の実施状況等	自己評価	委員会評価	評価委員会コメント等
④9 教育研究活動や業務運営、施設整備での環境への配慮・徹底した省エネ対策や地球温暖化対策を推進するとともに、農薬・医薬品等の廃棄の適正な管理体制の確保を図るなど環境負荷の軽減や環境汚染対策を推進する。特に、医薬品・医療材料等を除き廃プラスチック類や紙類など大学からのゴミ排出ゼロ（ゼロエミッション）を目指した活動を実践する。	<p>≪中期計画の実施状況≫ <令和2～5年度の実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院内の間接照明の一部消灯、照明設備のLED化を実施した。【医大】 ・毒物劇物管理規程に基づき、廃液・廃試薬を適切に処理した。【医大】 ・毒劇物についてガイドライン、規程、手引き等を改めて周知して、適正な保管、廃棄の徹底を図るとともに、ゴミの排出量の削減に向けては、ルールに基づいた処分について周知するとともに、ルール違反等があれば随時ゴミの適正廃棄の周知に努めた。【府大】 ・カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリションに参画（R5）。ゼロカーボン・キャンパス等に係る取組を他大学等と連携しながら検討していく。【府大】 	Ⅲ	Ⅲ	

VI その他運営に関する重要事項

6 大学支援組織の形成・拡大等に関する目標を達成するための措置

中期 目標	卒業生、同窓会組織等との連携を強化し、ふるさと納税の活用による寄附の募集等を通じて、大学への支援者を幅広く確保する。
----------	--

<p>⑤0 OB組織や関係者への働きかけ強化や周年事業の活用、寄附金等の募集などにより、大学応援組織（同窓会、後援会、関連病院等）の形成・強化や経済界等とのネットワークづくりを図り、両大学の幅広い支援者を確保する。また、医科大学においては、創立150周年事業を実施する。</p>	<p>《中期計画の実施状況》 《令和2～5年度の実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内関係者や校友会、関連病院等へ働きかけ、ふるさと納税等寄附金の募集や大学事業等の積極的な広報活動を展開した。【医大】 ・150周年記念としてチャリティウォーク等府民参加型の催し、国際シンポジウム及び記念式典等を開催したほか、記念出版や記念誌作成を実施した。【医大】 ・同窓会・後援会・校友会共催の講演会において、本学へのふるさと納税寄附金の協力を依頼。また、オープンキャンパス時等にも寄附金の案内チラシを配布するなど、本学の支援者・ファン獲得に努めた。【府大】 ・ふるさと納税について、ホームページでのきめ細かなPRや広報誌「ふたはの桂」での情報発信と併せ、後援会会員交流事業において、保護者に大学への理解を深める機会を提供しふるさと納税の支援を呼びかけた。【府大】 ・（一社）京都知恵産業創造の森及び京都産業21との具体的な交流活動及び連携を進めるほか、京都クオリアフォーラムへの参画や、京都商工会議所、京都府中小企業団体中央会との交流など、経済界とのネットワーク構築に努めている。【府大】 ・京都商工会議所と「地域産業の活性化と人材育成に関する包括連携協定」を締結し、府立大学の応援者の裾野拡大を図った。【府大】 	III	III	
---	---	-----	-----	--

数値目標実績(自己評価)

区分	目標項目	達成時期	数値目標	実績				自己評価	委員会評価	評価委員会コメント欄
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
教育	国家試験合格率	各年度	(医大)医師95.0%	95.9%	93.7%	94.5%	95.4%	Ⅲ	Ⅲ	
			(医大)看護師100% ※いずれも新卒者の合格率	100%	100%	98.8%	97.6%			
			(府大)管理栄養士 95%	96.3%	100%	96.0%	100%			
			社会福祉士 90% ※いずれも新卒者の合格率	76.5%	73.7%	93.1%	100%			
	学生による評価	各年度	(医大)「卒前教育に関するアンケート」学生満足度結果 4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	Ⅲ	Ⅲ	
			(府大)学生の学習目標達成度 4.0	4.0	4.0	4.0	4.0			
	英語による授業実施数	各年度	(医大)英語で実施の授業割合 大学院医学研究科20%以上	23.7%	22.4%	21.0%	20.0%	Ⅲ	Ⅲ	
FD・SD研修参加率	各年度	FD・SD研修参加率 75%以上 ※年に1回以上FD研修に参加した 教員・職員数/全教員・職員数	医大	88.5%	100%	82.8%	81.9%	Ⅲ	Ⅲ	
			府大	83.5%	90.9%	100%	100%			

研究	科学研究費 など国等の 競争的資金 獲得件数	各年度	(医大)450件		522件	512件	506件	501件	Ⅲ	Ⅲ	
			(府大)100件		101件	124件	112件	111件			
	産業界等 からの共同研 究・受託研究 等件数	各年度	70件	医大	85件	94件	71件	59件	Ⅲ	Ⅲ	両大学では、産学公連携機構（K-MICS）、産学公連携リエゾンオフィスの設置、京都クオリアフォーラムへの参加等、産学公連携の推進に取り組まれている。
				府大	119件	72件	99件	65件			
地域貢献	学生の府内 就職率 ※府外関連 病院も含む	各年度	(医大)70%以上	医学科	71.3%	73.2%	75.7%	78.1%	Ⅲ	Ⅲ	府立医科大学では、府本庁及び府内保健所等の行政機関に 医師の派遣を行うとともに、医師不足が特に深刻な府北部地域の医療機関に延べ 1,516名の医師の派遣を行うなど、府内の地域医療の提供に貢献されている。
				看護学科	78.6%	62.8%	77.6%	80.8%			
	初期臨床 研修後の 医師の府内 就職率	各年度	(医大)80%以上		85.5%	89.1%	78.2%	90.5%	Ⅲ	Ⅲ	

附属病院関連	患者紹介率	各年度	(医大)附属病院80%以上		77.5%	81.3%	81.7%	80.1%	II	III	府立医科大学附属病院では、経営改革推進室を設置し、経営改革企画会議を実施し、収支改善に取り組む等、経営改革に取り組まれている。
			北部医療センター55%以上		52.8%	53.9%	53.2%	58.5%			
	患者逆紹介率	各年度	(医大)附属病院70%以上		99.7%	99.8%	102.1%	100.1%	III	III	
			北部医療センター100%以上		106.9%	115.4%	96.9%	142.3%			
	患者満足度	各年度	(医大)附属病院、北部医療センター満足度調査「満足」「やや満足」「普通」回答割合 入院、外来とも95%以上	附属病院	入院	98.7%	98.8%	98.1%	98.3%	III	
外来					97.0%	97.8%	97.7%	98.3%			
北部医療センター				入院	98.7%	99.3%	99.0%	95.5%			
				外来	98.4%	100%	99.2%	98.7%			
機能評価係数Ⅱ比較	各年度	(医大)附属病院 全国公立大学附属病院平均を上回る		0.0935 (平均0.0919)	0.0935 (平均0.0919)	0.1054 (平均0.1081)	0.08340 (平均0.08883)	III	III		
		北部医療センター 府内DPC標準病院群平均を上回る		0.1165 (平均0.0855)	0.1165 (平均0.0855)	0.1278 (平均0.0976)	0.1135 (平均0.1003)				
業務運営	新聞・雑誌掲載数	各年度	(積極的記事) 各年度100件以上	医大	174件	130件	116件	102件	III	III	
				府大	178件	112件	169件	187件			

区分	目標項目	達成時期	数値目標	実績	自己評価	委員会評価	評価委員コメント欄
教育	学生の海外留学割合	最終年度	(医大)医学科 卒業時までの海外留学割合 20%以上 看護学科 同 5%以上 (府大)8%以上 ※「海外留学」の定義:2週間以上の滞在	(医大) 医学科 7% 看護学科 0% (府大) 1.6% 令和5年度時点	II	II	両大学において、学生の海外留学割合に係る数値目標が達成できない見込みとなっている。国際的なコミュニケーション力や多様な価値観を備えた人材の育成のため、数値目標の達成を目指す必要がある。
研究	論文掲載数	最終年度	(医大)1,000本 (府大)300本(6年間平均) ※活動報告から集計	(医大)860本 (府大)300件 令和5年度時点の平均	II	III	府立医科大学では、医学・医療情報管理学講座を設置し、疾患別レジストリに取り組むなど、戦略的な研究を推進されている。 府立大学では、文化庁と文化財の調査を中心とした連携を行うなど、戦略的な研究に取り組まれている。
地域貢献	府内自治体との連携件数	最終年度	(府大)300件 ※連携内容:自治体委員就任、ACTR等の調査・研究、地域文化セミナー等の自治体への出講、受託研究・受託事業	226件 令和5年度時点	II	III	府立大学では、まいづる赤れんがオフィス、宮津サテライトオフィスを設置される等、地域との連携を推進されている。

第7 その他の記載事項

1 予算

令和5年度 決算報告書

京都府公立大学法人

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	10,295	10,295	0	
自己収入	42,813	43,271	458	
授業料及び入学金検定料収入	2,010	2,002	▲ 8	
附属病院収入	39,639	39,167	▲ 472	
財産処分収入	6	6	0	
雑収入	1,156	2,095	939	(注1) 補助金の増加等により、予算額に比して939百万円の増となりました。
受託研究等収入及び寄附金収入	1,881	2,741	860	(注2) 外部資金獲得による収入の増等により、予算額に比して860百万円の増となりました。
長期借入金収入	1,418	1,418	0	
計	56,407	57,727	1,320	
支出				
業務費	52,024	54,489	2,465	
教育経費	681	556	▲ 125	(注3) 教育経費の減等により、予算に比して125百万円の減となりました。
研究経費	1,172	632	▲ 540	(注4) 受託研究費への振替等により、予算に比して540百万円の減となりました。
診療経費	23,647	26,657	3,010	(注5) 医薬品及び診療材料費の増等により、予算に比して3,010百万円の増となりました。
教育研究支援経費	336	298	▲ 38	(注6) 研究者支援経費の減等により、予算に比して38百万円の減となりました。
一般管理費	492	1,044	552	(注7) 大学運営経費の増等により、予算に比して552百万円の増となりました。
人件費	25,693	25,299	▲ 394	
財務費用	1,763	1,765	2	
施設整備費等	1,529	1,561	32	
受託研究等研究経費及び寄附金事業費等	1,091	2,244	1,153	(注8) 研究経費の受託研究費への振替等により、予算額に比して1,153百万円の増となりました。
計	56,407	60,060	3,653	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載していますので、合計金額と一致しないことがあります。

2 収支計画

令和5年度 収支計画

京都府公立大学法人

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)
費用の部	55,775	60,164	4,389
経常費用	55,775	59,402	3,627
業務費	52,968	56,448	3,480
教育経費	681	750	69
研究経費	1,062	874	▲ 188
診療経費	23,629	26,496	2,867
教育研究支援経費	336	302	▲ 34
受託研究費等	1,091	1,306	215
役員人件費	23	20	▲ 3
教員人件費	7,943	7,972	29
職員人件費	17,726	17,654	▲ 72
一般管理経費	476	1,070	594
財務費用	32	35	3
減価償却費	2,775	2,918	143
臨時損失	0	762	762
収益の部	55,775	63,733	7,958
経常収益	55,775	55,984	209
運営費交付金収益	10,282	9,974	▲ 308
授業料収益	1,734	1,916	182
入学金収益	212	226	14
検定料収益	50	49	▲ 1
附属病院収益	39,639	39,167	▲ 472
受託研究等収益	1,088	1,690	602
寄附金収益	521	776	255
雑益	1,162	2,183	1,021
資産見返勘定戻入	562	-	▲ 562
資産見返物品受贈額戻入	525	-	▲ 525
臨時収益	0	7,749	7,749
純利益	0	3,568	3,568
総利益	0	3,568	3,568

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載していますので、合計金額が一致しない場合があります。

3 資金計画

令和5年度 資金計画

京都府公立大学法人

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)
資金支出	60,293	59,955	▲ 338
業務活動による支出	53,787	56,476	2,689
投資活動による支出	1,529	1,296	▲ 233
財務活動による支出	1,763	358	▲ 1,405
翌年度への繰越金	3,214	1,822	▲ 1,392
資金収入	60,293	59,955	▲ 338
業務活動による収入	55,661	56,121	460
運営費交付金による収入	10,295	9,974	▲ 321
授業料及び入学金検定料による収入	2,010	2,008	▲ 2
附属病院収入	39,639	38,854	▲ 785
受託収入	1,260	1,879	619
寄附金収入	621	865	244
その他の収入	1,836	2,539	703
投資活動による収入	-	20	20
財務活動による収入	1,418	1,752	334
前年度よりの繰越金	3,214	2,060	▲ 1,154

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて記載していますので、合計金額と一致しないことがあります。

4 短期借入金の限度額等

中期計画	年度計画	実績																														
<p>(1) 短期借入金の限度額</p> <p>ア 限度額 25億円</p> <p>イ 想定される理由 運営費交付金の交付時期と資金需要の期間差及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れすること。</p>	<p>(1) 短期借入金の限度額</p> <p>ア 限度額 25億円</p> <p>イ 想定される理由 運営費交付金の交付時期と資金需要の期間差及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れすること。</p>	<p>(1) 短期借入金の限度額</p> <p>ア 限度額 限度額 25億円 借入額 20億円 返済額 20億円</p> <p>イ 想定される理由 新型コロナウイルス感染症対応の影響による病院収入の大幅な減収や物価高騰等による経費の大幅な増加への対策として、法人経営を万全なものとするため緊急に必要となる運転資金について借り入れを行った。</p>																														
<p>(2) 不要財産の処分に関する計画 なし</p>	<p>(2) 不要財産の処分に関する計画 なし</p>	<p>(2) 不要財産の処分に関する計画 なし</p>																														
<p>(3) 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし</p>	<p>(3) 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし</p>	<p>(3) 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし</p>																														
<p>(4) 剰余金の使途 決算において剰余金が発生した場合は、教育、研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる。</p>	<p>(4) 剰余金の使途 決算において剰余金が発生した場合は、教育、研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる。</p>	<p>(4) 剰余金の使途 なし</p>																														
<p>(5) 京都府公立大学法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則で定める事項</p> <p>ア 施設・設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>予定額(百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	施設・設備の内容	予定額(百万円)	財源	—	—	—	<p>(5) 京都府公立大学法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則で定める事項</p> <p>ア 施設・設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>予定額(百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(病院)診療機器整備</td> <td rowspan="7">1,529</td> <td rowspan="7">運営費交付金 附属病院収入 補助金 長期借入金</td> </tr> <tr> <td>(病院)老朽施設・設備等整備</td> </tr> <tr> <td>(病院)手術室機能強化</td> </tr> <tr> <td>(北部)診療機器整備</td> </tr> <tr> <td>(北部)老朽施設・設備等整備</td> </tr> <tr> <td>(府大)老朽施設・設備等整備</td> </tr> <tr> <td>(府大)大学施設整備</td> </tr> </tbody> </table>	施設・設備の内容	予定額(百万円)	財源	(病院)診療機器整備	1,529	運営費交付金 附属病院収入 補助金 長期借入金	(病院)老朽施設・設備等整備	(病院)手術室機能強化	(北部)診療機器整備	(北部)老朽施設・設備等整備	(府大)老朽施設・設備等整備	(府大)大学施設整備	<p>(5) 京都府公立大学法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則で定める事項</p> <p>ア 施設・設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>実績額(百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(病院)診療機器整備</td> <td rowspan="7">1,561</td> <td rowspan="7">運営費交付金 附属病院収入 補助金 長期借入金</td> </tr> <tr> <td>(病院)老朽施設・設備等整備</td> </tr> <tr> <td>(病院)手術室機能強化</td> </tr> <tr> <td>(北部)診療機器整備</td> </tr> <tr> <td>(北部)老朽施設・設備等整備</td> </tr> <tr> <td>(府大)老朽施設・設備等整備</td> </tr> <tr> <td>(府大)大学施設整備</td> </tr> </tbody> </table>	施設・設備の内容	実績額(百万円)	財源	(病院)診療機器整備	1,561	運営費交付金 附属病院収入 補助金 長期借入金	(病院)老朽施設・設備等整備	(病院)手術室機能強化	(北部)診療機器整備	(北部)老朽施設・設備等整備	(府大)老朽施設・設備等整備	(府大)大学施設整備
施設・設備の内容	予定額(百万円)	財源																														
—	—	—																														
施設・設備の内容	予定額(百万円)	財源																														
(病院)診療機器整備	1,529	運営費交付金 附属病院収入 補助金 長期借入金																														
(病院)老朽施設・設備等整備																																
(病院)手術室機能強化																																
(北部)診療機器整備																																
(北部)老朽施設・設備等整備																																
(府大)老朽施設・設備等整備																																
(府大)大学施設整備																																
施設・設備の内容	実績額(百万円)	財源																														
(病院)診療機器整備	1,561	運営費交付金 附属病院収入 補助金 長期借入金																														
(病院)老朽施設・設備等整備																																
(病院)手術室機能強化																																
(北部)診療機器整備																																
(北部)老朽施設・設備等整備																																
(府大)老朽施設・設備等整備																																
(府大)大学施設整備																																
<p>イ 人事に関する計画 Ⅲの2「人事管理に関する目標を達成するための措置」に記載のとおり</p> <p>ウ 積立金の使途 なし</p>	<p>イ 人事に関する計画 Ⅲの2「人事管理に関する目標を達成するための措置」に記載のとおり</p> <p>ウ 積立金の使途 なし</p>	<p>イ 人事に関する計画 Ⅲの2「人事管理に関する目標を達成するための措置」に記載のとおり</p> <p>ウ 積立金の使途 なし</p>																														

5 収容定員

大学名	学科、研究科名	収容定員 A (人)	学生数 B (人)	定員充足率 B/A×100 (%)
医科大学	医学部医学科	642	656	102.2%
	医学部看護学科	340	343	100.9%
	医学研究科	300	308	102.7%
	保健看護学研究科	25	31	124.0%

大学名	学科部、研究科名	収容定員 A (人)	学生数 B (人)	定員充足率 B/A×100 (%)
府立大学	文学部	518	591	114.1%
	公共政策学部	416	458	110.1%
	生命環境学部 <small>(令和6年度から学生募集停止)</small>	639	708	110.8%
	農学食科学部	105	113	107.6%
	生命理工情報学部	59	63	106.8%
	環境科学部	79	79	100.0%
	文学研究科	57 (1)	54	94.7%
	公共政策学研究科	57 (1)	18	31.6%
	生命環境科学研究科	215 (2)	206	95.8%
	食の文化学位プログラム	4	5	125.0%

- ※ 令和6年5月1日現在
- ※ 収容定員は学生が在籍する各学年の入学定員の合計
- ※ 括弧内の数字は、食の文化学位プログラムに活用する令和6年度の入学定員及び収容定員を示す。